

S A N E I

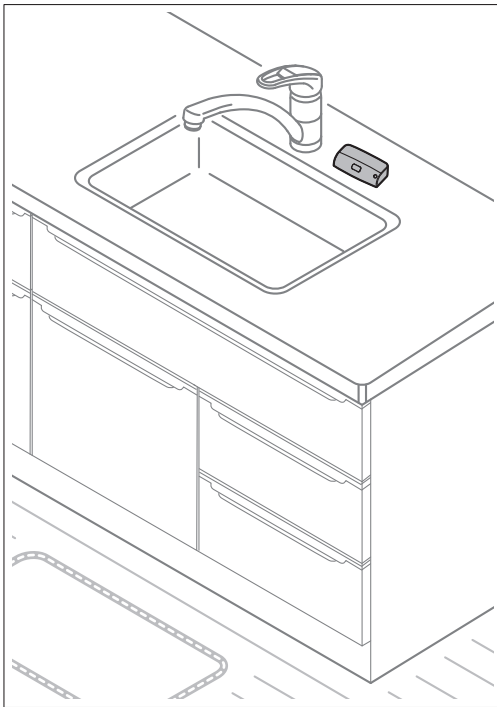
保証書付

ワイヤレススイッチセット（非接触式）

..... EK801-5X-13

施工・取扱説明書

施工、ご使用の前にこの説明書を必ずお読みのうえ正しく施工、ご使用ください。



お客様へ

保証書にお買上げ（お取付け）年月日、販売店（工事店）名の記入のない場合は、お買上げ（お取付け）の販売店（工事店）に申し出ていただくか、レシート又は領収書を貼付してください。

工事店様へ

施工後、保証書に貴店名ならびにお取付け年月日をご記入のうえ、本書と共にお客様へおわたください。

本製品について

本製品の特長・各部の名称	1
寸法図	2

施工について

梱包明細	3
施工に関する安全上のご注意	4～6
適切な使用条件	7～8
施工手順	9～16

ご使用について

ご使用に関する安全上のご注意	17～23
リモコンの設置	24～25
ご使用前の確認	26
ご使用方法	27
リモコンのペアリング	28

日頃のお手入れ

汚れの拭き取り	29
ストレーナーの掃除	30

定期的な点検

リモコンの電池交換	31～32
コントローラーの電池交換 （バックアップ用）	33～34

配管周りの水漏れ・ 器具のガタツキ・ホコリの除去	35
-----------------------------------	----

凍結防止について

寒冷地用の水抜き方法	36
------------------	----

こんなときは

こんなときは	37～38
--------------	-------

- ◆ リモコンの電池が切れたら？
- ◆ リモコン反応しなかったら？
- ◆ リモコンを紛失したら？
- ◆ コントローラーの電池が切れたら？
- ◆ コントローラーが故障したら？
- ◆ 停電したら？
- ◆ 吐水・止水時に弁鳴り（チャタリング）したら？

漏水した場合の処置	39
-----------------	----

故障？ その前に	40～41
----------------	-------

その他

本製品の構造	42
仕様	43

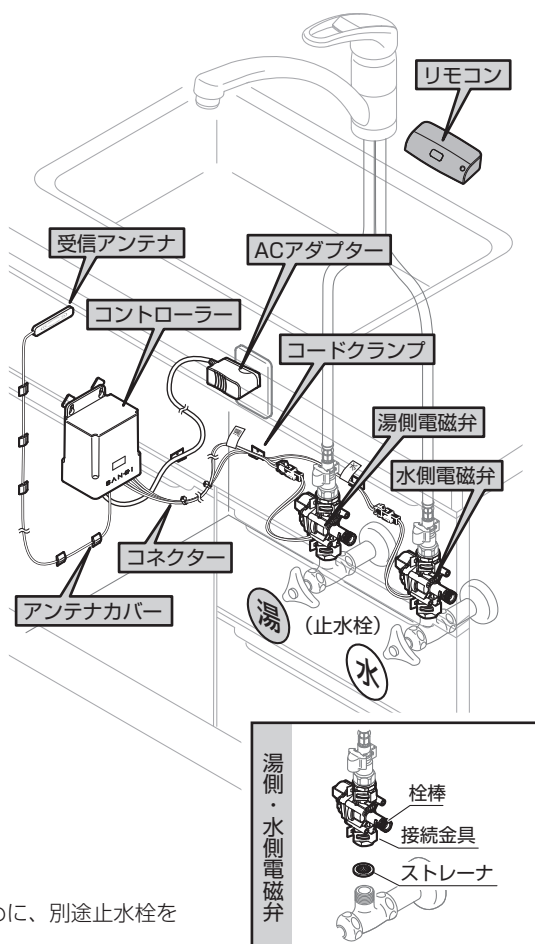
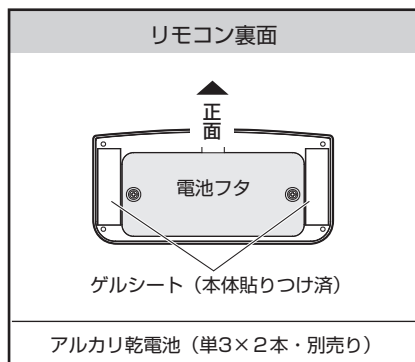
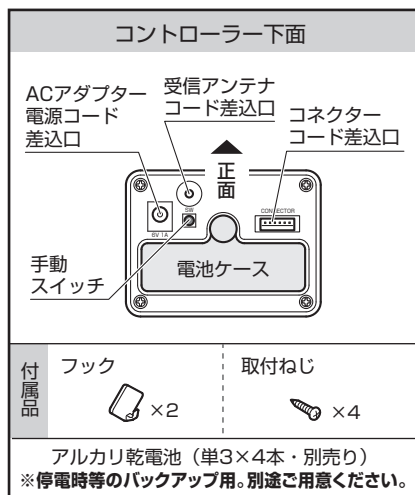
保証とアフターサービス

保証とアフターサービス	44～45
無料修理規定	46
保証書	裏紙

本製品の特長

- 検知窓に手をかざす動作で、湯水を出したり止めたりできる便利商品です。
- キッチンや洗面所でお使いの混合栓（シングルレバー式、サーモスタート式、ミキシング式、またはツーバルブ式の混合栓）に組み合わせて使用できます。
- コントローラーの作動電力は AC100V です。停電時に AC100V の供給が止まった場合は、バックアップ電源としてアルカリ乾電池（単3×4本・別売）で作動させることが可能です。
- リモコンの作動電力はアルカリ乾電池（単3×2本・別売）です。
- 停電時等にバックアップ電池が消耗して使用できない場合のために、栓棒（緊急用強制開放ねじ）※ を搭載しました。

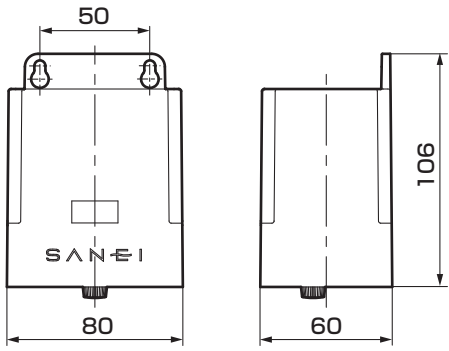
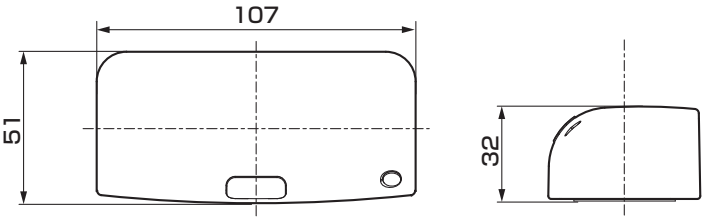
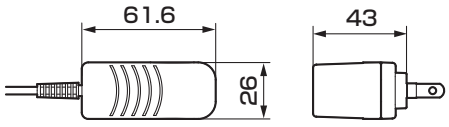
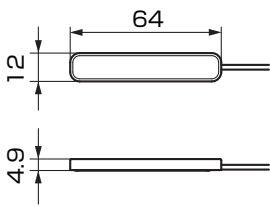
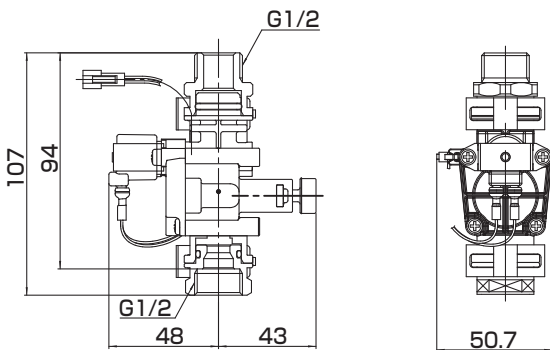
※ 栓棒（緊急用強制開放ねじ）は、停電時等に電力供給が遮断され、かつバックアップ電池での作動ができない状態に陥った場合を想定し、緊急措置として湯水を出せる状態にするためのものです。ただし、この措置はあくまで緊急用のため、吐水量などは通常使用時とは使い勝手が異なり、使用環境によっては異音が発生するおそれがあります。この状態での長期使用は機器の寿命を縮める原因になりますので、ただちに電池交換を行っていただくことで通常使用に戻っていただくか、電力供給開始までのご使用をお控えください。 参照：P37



- 水勢調節及び製品の点検を容易にするために、別途止水栓をご用意ください。

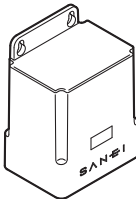
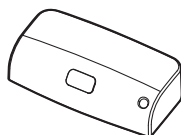
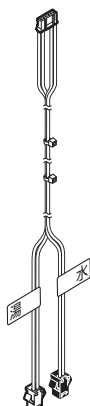
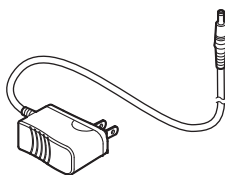
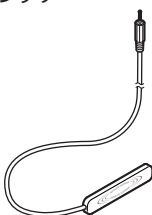
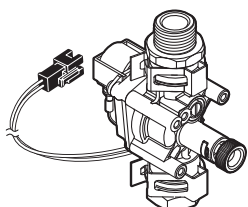
本製品について 寸法図

●仕様により、寸法が異なる場合があります。

コントローラー	
リモコン	
ACアダプター	 受信アンテナ 
電磁弁	

施工について 梱包明細

●開梱の際は、製品に傷をつけないようご注意ください。

コントローラー	コントローラー 	フック  ×2 取付ねじ  ×2	リモコン 
コード類	コネクター 	ACアダプター  コードクランプ  ×3	受信アンテナ  アンテナカバー  ×5
電磁弁	電磁弁  ×2	ストレーナ  ×2	施工・取扱説明書 (保証書付)  必ず、お客様にお渡しください。

施工について 施工に関する安全上のご注意

●ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果(傷害・物損)に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

用語および記号の説明

警告

「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じる事が想定されます。」



「水や液体をかけたり、浸けてはいけません!」



「分解してはいけません!」

注意

「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害が発生する危険な状態が生じる事が想定されます。」



「触れてはいけません!」



「指示通りにしないで!」
(一般的な行動指示記号です。)



「注意しない!」
(左記 警告・注意と併用して注意をうながす記号です。)



「バスルームやシャワールームなどの水場で使用してはいけません!」



「電源プラグをコンセントから抜かない!」



「してはいけません!」
(一般的な禁止記号です。)

警告



禁止

本製品は、日本国内のキッチン・洗面用です。それ以外の条件下には設置しないでください。



禁止

ACアダプターや電磁弁・コントローラー・コード類に水や洗剤、汚水をかけないでください。
火災や感電の原因になります。



禁止

ACアダプターおよびコード類が破損するようなことをしないでください。

【してはいけません!】

- 傷つける ●加工する
- 無理に曲げる
- ねじる ●引っ張る
- 重いものを載せる
- 挟み込む ●加熱する

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。



禁止

ガタついているコンセントは使用しないでください。
火災や感電の原因になります。



禁止

指定された電源(AC100V)以外で使用しないでください。
火災の原因になります。

警告



禁止

コンセントや配線器具の定格を超える使い方は避けてください。
火災の原因になります。



禁止

電源コードの加工(切断・継ぎ足し)を行わないでください。
火災や感電の原因になります。



禁止

雷が発生しているときは、ACアダプターに触らないでください。
感電の原因になります。



禁止

ACアダプターを濡れた手でさわらないでください。
感電の原因になります。



必ず実行

ACアダプターを抜くときは、必ずACアダプター本体を持って抜いてください。
火災や感電の原因になります。



必ず実行

ACアダプターをコンセントに差し込むときは、根元まで十分差し込んでください。
火災や感電の原因になります。

⚠ 警告



禁止

- 湯水を逆に配管しないでください。
- あらかじめ、止水栓の湯側・水側を確認してください。
湯側・水側を間違えて取付けると、水を出そうとしても、湯が出てやけどをするおそれがあります。
- コネクターを接続する際は、湯側・水側を間違えないように注意してください。
湯側・水側を間違えて取付けると、湯が先に出てやけどをするおそれがあります。



禁止

給湯温度は60℃より高温に設定しないでください。
高温の湯が出るとやけどをするおそれがあります。



禁止

この商品を構成する部品以外の取付けや、部品の取りはずしなどの改造はしないでください。
故障や感電の原因になります。
また、商品の性能を損ない、やけど・けがをしたり、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。



禁止

高精度な制御や微弱な信号を取扱う電子機器や医療機器の近くで作動させないでください。
自動制御機器やペースメーカー、その他医療機器に影響を与え、事故の原因となるおそれがあります。
当該の医療機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。なお、このリモコンは微弱電波無線機器に該当し、出力は315MHz帯、500μV/m以下です。



禁止

浴室など湿気の多い場所には設置しないでください。
故障や感電の原因になります。



禁止

絶対に分解したり、修理・改造は行わないでください。
火災や感電の原因になります。

⚠ 警告



禁止

湯側電磁弁とその周辺に、直接肌を触れないでください。
給湯側のため高温になっており、やけどをするおそれがあります。



必ず実行

湯水を出す際は、必ず手で適温であることを確かめてください。
高温の湯が出て、やけどをするおそれがあります。



必ず実行

湯を出した後は、しばらく水を流してから止水してください。
次に使用する際、水栓内に残っている高温の湯が出て、やけどをするおそれがあります。



必ず実行

ストレーナの掃除をする際は、いきなり接続金具をゆるめずに、止水栓を閉めてから行ってください。
また、湯側電磁弁が熱くないことを確認してください。
高温の湯が出て、やけどをしたり、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。

⚠ 注意



禁止

製品に強い力や衝撃を与えないでください。
【してはいけない例】
●固いものをぶつける
●重いものを載せる
故障や漏水の原因になります。



禁止

屋外や凍結が予想される場所には設置しないでください。
部品が破損し、水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。
凍結のおそれがある場合は、保温材を巻くなど、周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。凍結による破損は、保証期間内でも有料修理となります。



禁止

新・旧および異なる種類の電池を混ぜて作動させないでください。
電池の破裂、液漏れにより、けがや周囲を汚損する原因になります。

⚠ 注意



禁止

作動の際は、ACアダプターをご使用ください。バックアップ電池のみでの作動はお控えください。



必ず実行

施工完了後は、水栓のハンドル（レバー）を閉めてください。
不意にリモコンが反応し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



必ず実行

施工完了後、長期間使用しないときは、止水栓または配管部の元栓を閉め、下記のことを行ってください。
●ACアダプターを抜く
●コントローラーの電池を取りはずす
誤作動や故障などによる予想しない事故や、電池の液漏れによるけがや周囲を汚損する原因になります。



必ず実行

リモコンをはずしたり、移動したりする際は、水栓のハンドル（レバー）を閉めてください。
不意にリモコンが反応し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

⚠ 注意

リモコンの取付けに関する注意事項



禁止

表面材質の弱い場所にリモコンを取付けしないでください。

塗装面や壁紙・化粧紙仕上げ・その他表面処理や材質によっては、リモコンを取り外す際に塗装や表面材がはがれたり、変色・劣化するおそれがあります。



必ず実行

リモコンは床上など、危険が想定される場所に取付けしないでください。
転倒などによるけがや、使用時以外にセンサーが反応し、家財などを濡らし財産損害発生のおそれがあります。



必ず実行

リモコンを貼付けるときは、貼付け面の汚れをきれいに拭き取ってください。
汚れたまま貼付けると、ゲルシートの粘着度が落ち、落下の原因になります。



必ず実行

リモコンを取り外す際は、表面を保護するために、リモコンをゆっくりはがしてください。
強い力で急にはがすと、リモコン取付部を傷つけたり、塗装や表面材がはがれる原因になります。



禁止

リモコンは何度も取りはずさないでください。
ゲルシートの強度が落ちます。

施工について 適切な使用条件

■給水・給湯圧力：

最低必要水圧(流動時)：0.05MPa

最高使用水圧(静止時)：0.75MPa

■使用最高温度：60℃

■使用可能水質：水道水

■用途：一般住宅用

給水・給湯圧力についてのご注意

- 給水・給湯圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁などで0.2～0.3MPa程度に減圧してください。
- 止水時の水撃音が大きい場合は、止水栓で流量を調節してください。
それでも直らない場合は、水撃低減器（SANEI品番：T1670-13）を取付けてください。
- 給水圧力は給湯圧力より必ず高くするか、同圧になるようにしてください。
- 給湯圧力は必ず0.05MPa以上にしてください。

給湯についてのご注意

- 給湯機からの給湯管は抵抗を少なくするために最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。
- 誤操作などによるやけど防止のため、42～60℃給湯をおすすめします。
- 給湯に蒸気を使用しないでください。

配管についてのご注意

- 取付け後の保守点検のために、必ず止水栓（別売）と点検口を設けてください。
- 食器洗浄機などで連続給水が必要な場合は、給水管を電磁弁の前(上流側)から分岐してください。
リモコン操作によって、断水されるおそれがあります。
- 水栓の給水・給湯ホースは、折れ曲がらないよう注意してください。
給水・給湯取出位置が高いと、場合によっては取付けできなくなるおそれがあります。

設置場所についてのご注意

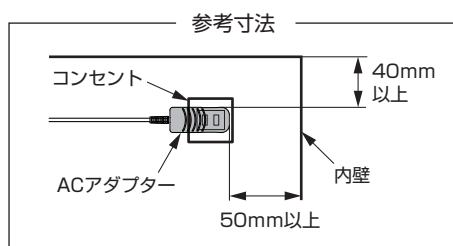
- リモコンや受信アンテナの設置場所によっては、電波を受信しにくいことがありますので、固定前に動作を確認してから取付けてください。

電波を受信しにくい場合は、受信アンテナを外に出すか、受信アンテナまたはリモコンの取付位置を変えてみてください。

- 次のような場合は、誤動作や動作しない原因となります。

- ・カウンターが電波を阻害する材質である場合。
- ・インバーターや電波を用いた他の機器が近くにある場合。
- ・テレビ、ラジオの送信所や各種無線局が近くにある場合。
- ・リモコンと受信アンテナの間に、金属など電波を通しにくい障害物がある場合。
- ・周辺が金属で囲まれるような場所に置いた場合。
- ・食器洗浄機などの機器が近くにある場合。

- ACアダプターは、キャビネットの内壁にぶつからない位置に取付けてください。

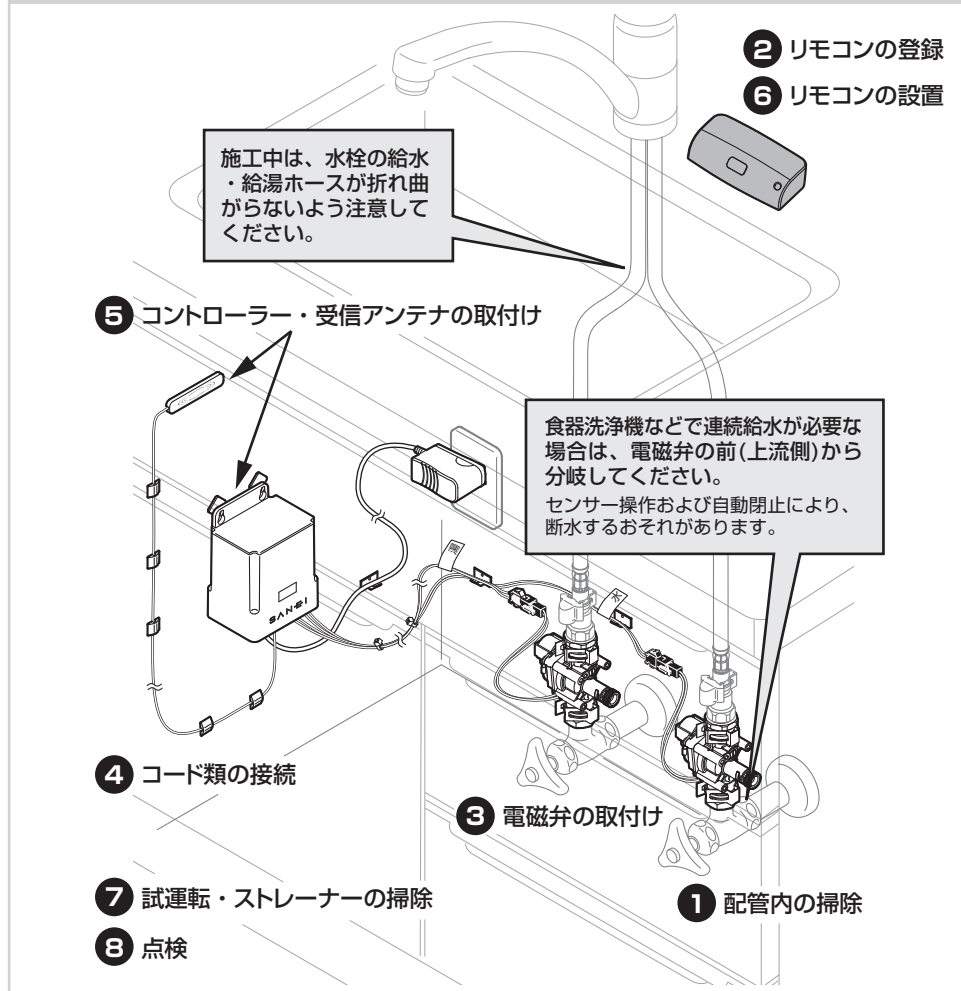


- コントローラーは、電池交換ができるように、床面から離して取付けてください。

その他のご注意

- 梱包前に通水検査をしていますので、商品内に水が残っている可能性がありますが、商品には問題ありません。
- 給水は、上水道に接続してください。
- 施工の際は製品に傷をつけないようご注意ください。

施工の流れ



1 配管内の掃除

注 意



配管内のシールテープくずやゴミをきれいに取除き、

必ず通水して配管内のゴミを完全に洗い流してください。

水栓金具内にゴミなどが混入すると止水不良や水栓の故障の原因となり、

この場合には有償修理となります。

2 リモコンの登録

- ①コントローラーにACアダプターと受信アンテナを付けます。
※リモコン登録のための手順です。操作しやすい場所で行ってください。
- ②コントローラーの手動スイッチを押した状態で、登録するリモコンに手をかざします。
コントローラーより、「ピッ」という音が鳴れば完了です。

- ※ リモコンにはIDコードが登録されています。
IDコードをコントローラーに登録しないと、
リモコンを使用することができません。
- ※ ①・②の動作をもう一度行うと解除されます。
- ※ リモコンは、最大4台まで設置可能です。



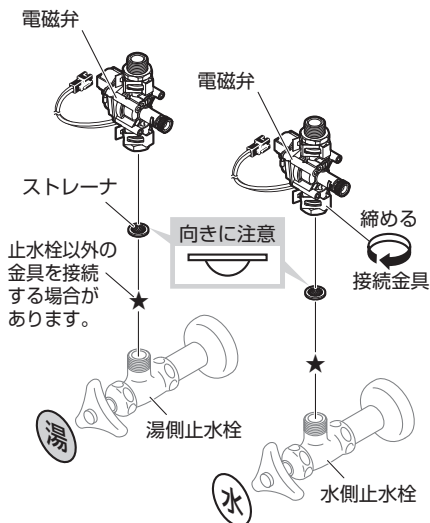
登 録	「ピッ」短い音
削 除	「ピーッ」長い音

3 電磁弁の取付け

- ①湯側・水側止水栓※に、電磁弁・ストレーナを取付けます。
※お客様の使用条件によっては★の位置に
止水栓以外の機器を取付ける場合があります。

⚠ 注意

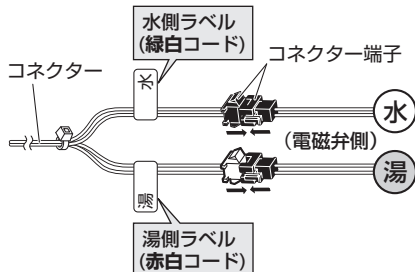
- あらかじめ、止水栓の湯側・水側を確認してください。
湯側・水側を間違えて取付けると、水を出そうとしても、湯が出てやけどをするおそれがあります。
- ストレーナの向きに注意してください。
- 食器洗浄機などで連続給水が必要な場合は給水管を電磁弁の前(上流側)から分岐してください。
リモコン操作によって、断水される恐れがあります。



- ②コネクターの湯側・水側コネクタ端子を、電磁弁の湯側・水側コネクタ端子にそれぞれ接続します。

⚠ 注意

- コネクタを接続する際は、湯側・水側を間違えないように注意してください。
湯側・水側を間違えて取付けると、湯が先に出てやけどをするおそれがあります。
- コネクタ端子は、「カチッ」と音がするまで確実に差し込んでください。

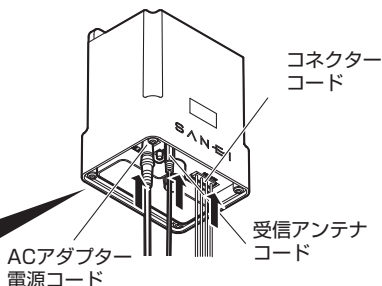
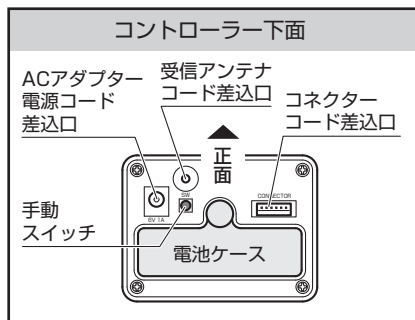


- ③電磁弁に水栓を取付けます。

※取付方法については、水栓の施工説明書をご覧ください。

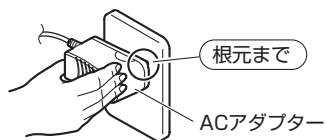
4 コード類の接続

- ①コントローラーに電池を入れてください。
- ②コネクター、受信アンテナ、ACアダプターのコードを、それぞれコントローラー下面の差込口に確実に差し込みます。



手動スイッチ

手動スイッチは「リモコンのID増設・削除」・「吐水・止水」を手動で切替えることが可能です。
吐水後に操作しなかった場合、およそ5分後に自動で止水します。通水確認時に使用してください。



- ③コンセントにACアダプターを根元まで確実に差し込んでください。

5 コントローラー・受信アンテナの取付け



注意

● 万が一電磁弁から漏水した場合でもめれないように、コントローラーは電磁弁よりも高い位置になるように固定してください。

● 次のような場合は、誤動作や動作しない原因となります。

- ・ カウンターが電波を阻害する材質である場合。
- ・ インバーターや電波を用いた他の機器が近くにある場合。
- ・ テレビ、ラジオの送信所や各種無線局が近くにある場合。
- ・ リモコンと受信アンテナの間に、金属など電波を通しにくい障害物がある場合。
- ・ 周辺が金属で囲まれるような場所に置いた場合。
- ・ 食器洗浄機などの機器が近くにある場合。

● コントローラーは、上下逆向きや横向きに取付けしないでください。

● 受信アンテナは、金属面には取付けしないでください。

電波の受信ができず、動作しない原因となります。

● 受信アンテナは、鍋やアルミ箔などの金属で覆わないでください。

電波の受信ができず、動作しない原因となります。

● 受信アンテナは、扉や引き出しなど開閉する際に動く箇所や、物や身体が頻繁に触れるような箇所には取付けしないでください。

コードの断線や故障の原因となります。

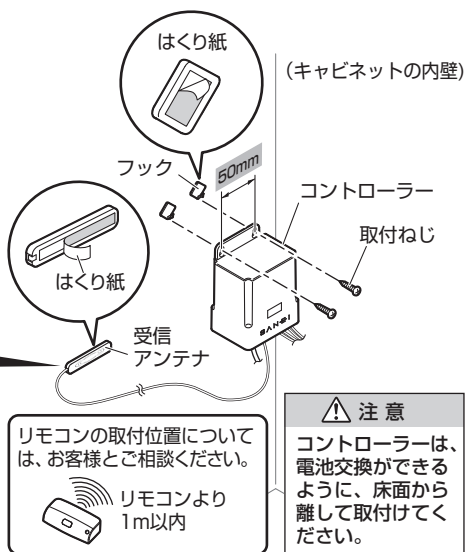
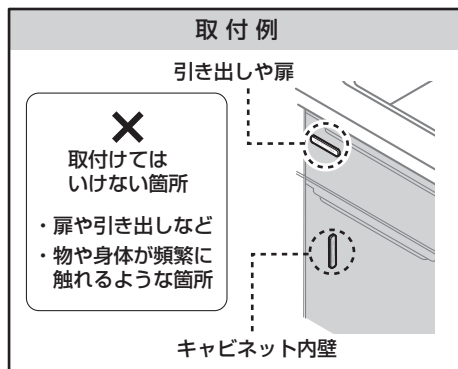
● フック・受信アンテナを貼付けるときは、貼付面の汚れをきれいに拭き取ってください。

汚れたまま貼付けると、取付面の強度が落ち、落下の原因となります。

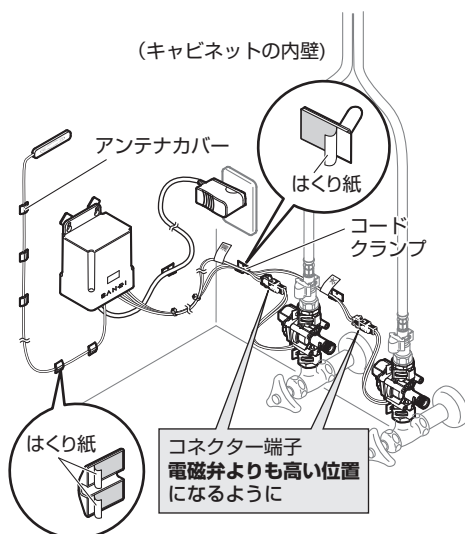
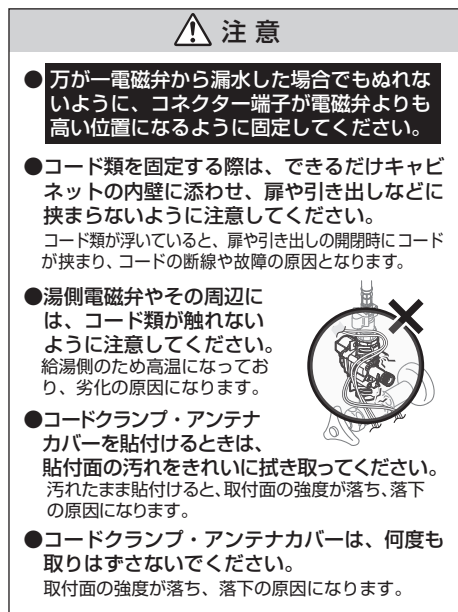
● フック・受信アンテナは、何度も取りはずさないでください。

取付面の強度が落ち、落下の原因となります。

- ①コントローラーをフック(2個)または取付ねじ(2本)で、キャビネットの内壁(横の面、もしくは奥の面)に取付けます。
- ②受信アンテナを、リモコン取付位置から1m以内に取付けてください。

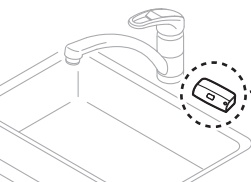


- ③コードクランプ・アンテナカバーを使って、コード類をキャビネットの内壁に固定してください。



6 リモコンの設置

取
付
位
置



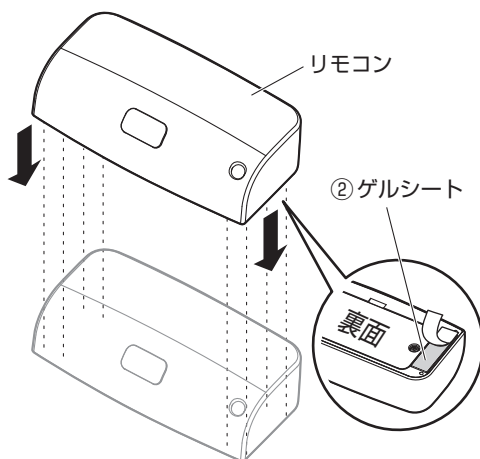
水栓本体の横など手をかざしやすい位置に設置してください。壁面などは落下により破損の原因となりますのでおやめください。

リモコンの取付位置は、お客様とご相談ください。

①リモコンに電池を入れます。

※P31～32参照

②リモコン裏面のゲルシートのはくり紙をはがし貼付けます。



注意

※ **P6の** リモコンの取付けに関する注意事項 **を併せてご確認ください。**

●リモコンは落下しないように、水平な場所に必ず固定してご使用ください。
落下させると、リモコンが破損する原因になります。

●リモコンは、鍋やアルミ箔などの金属で覆わないでください。
電波の送信ができず、動作しない原因になります。

●設置場所によって電波を送信しにくいことがありますので、固定前に動作を確認してから取付けてください。
電波を受信しにくい場合は、受信アンテナを外に出すか、受信アンテナまたはリモコンの取付位置を変えてみてください。

●次のような場合は、誤動作や動作しない原因となります。

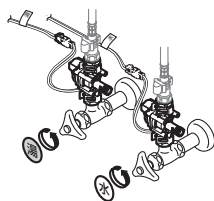
- ・カウンターが電波を阻害する材質である場合。
- ・インバーターや電波を用いた他の機器が近くにある場合。
- ・テレビ、ラジオの送信所や各種無線局が近くにある場合。
- ・リモコンと受信アンテナの間に、金属など電波を通しにくい障害物がある場合。
- ・周辺が金属で囲まれるような場所に置いた場合。
- ・食器洗浄機などの機器が近くにある場合。

●リモコンは受信アンテナから1m以内の範囲に設置してください。

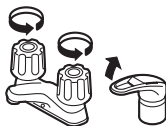
7 試運転・ストレーナーの掃除

1. 試運転

- ①湯側・水側の止水栓を開けます。

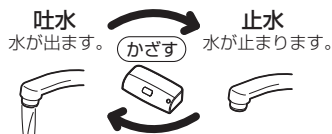


- ②水栓のハンドル（レバー）を開けてください。



※ ハンドル（レバー）で、あらかじめ流量と温度を調節しておいてください。

- ③センサーが反応すると、その都度吐水・止水が切替わります。

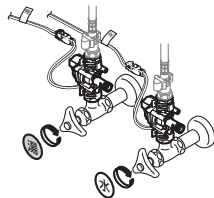


※ 水側・湯側ともに給水・給湯されているか確認してください。

2. ストレーナーの掃除

ストレーナーが詰まると流量が少なくなったり、十分な機能が発揮されなくなります。お客様にも定期的に掃除していただくようにご説明願います。

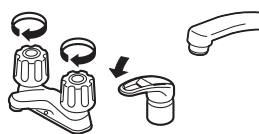
- ①湯側・水側の止水栓を閉めます。



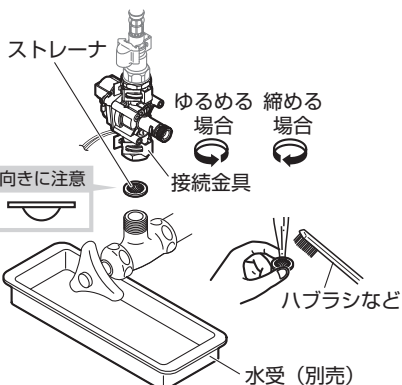
- ②水栓のハンドル（レバー）を開け、通水状態にします。こうすることで、水栓内部の圧力を抜きます。



- ③ハンドル（レバー）を閉じます。



※ シングルレバー混合栓の場合は、ハンドル（レバー）を湯・水の中央位置で開閉してください。



- ④電磁弁下部の取付金具をゆるめます。

- ⑤電磁弁を上にならし、ストレーナを取り出します。

※ 作業の際は、止水栓の下に水受（別売）を設置してください。

※ ストレーナは、湯側・水側の2カ所あります。

※ 湯側のストレーナをはすす際は、高温の湯が出る場合がありますのでご注意ください。

- ⑥ストレーナに詰まったごみや汚れを、ハブラシなどで取除きます。

- ⑦ストレーナを取付け、接続金具を締めます。

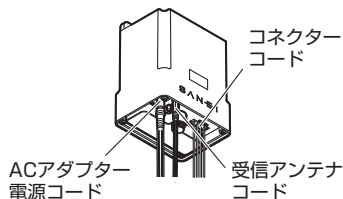
※ ストレーナの向きに注意してください。

- ⑧止水栓を調節しながら開けます。

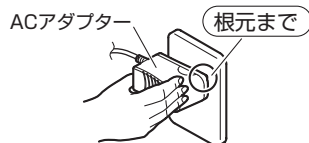
8 点検

コード類・ACアダプターの点検

コード類やACアダプターは、確実に接続されていますか？

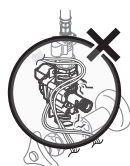


- ①コネクター、受信アンテナ、ACアダプターのコードが確実に接続されていることを確認してください。
- ②コンセントにACアダプターが根元まで確実に差し込まれていることを確認してください。

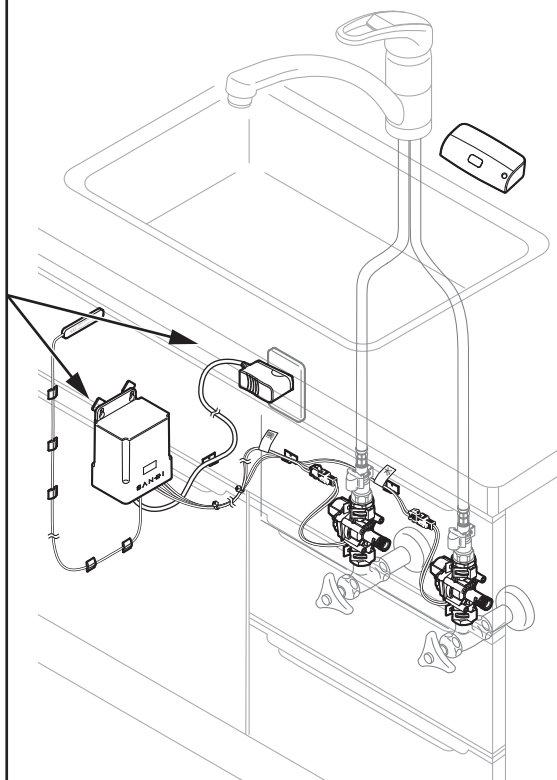


- コネクター端子が電磁弁よりも高い位置になるように固定されていますか？

- 湯側電磁弁やその周辺に、コード類が触れていませんか？



施工完了後、各部を確認してください。



流量調節・温度調節がうまくできない場合

止水栓は調節されていますか？

→ 止水栓で流量を調節してください。



ストレーナのごみ詰まりはありませんか？

→ ストレーナの掃除をしてください。

⑥ 試運転・ストレーナの掃除 参照

リモコンにかざしても止水できない場合

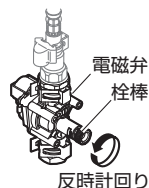
電磁弁が強制開放されている状態になっていませんか？

→ 電磁弁の栓棒を元に戻します。(※)

【栓棒の戻し方】

電磁弁の栓棒を反時計回りに当りまで回してください。

※ 湯側を操作する際は熱くないことを確認してください。



(※) 停電時等に電力供給が遮断され、かつバックアップ電池での作動ができない状態に陥った場合を想定し、緊急措置として水を出せる状態にするためのものです。

給水・給湯ホースの点検

水栓の給水・給湯ホースが極端に折れ曲がっていませんか？

キャビネット内の点検

キャビネット内の扉や引き出し、収納物などが、コード類や各部品を圧迫していませんか？

電磁弁の点検

●水漏れはないですか？

→ 水漏れがある場合、電磁弁を取付け直してください。

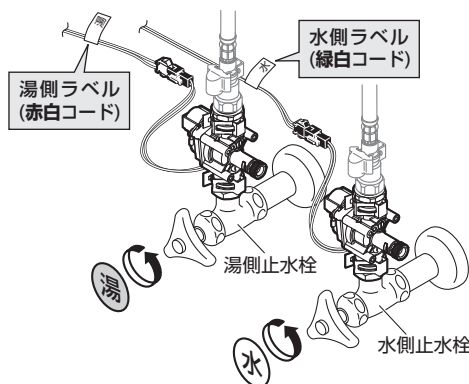
② 電磁弁の取付け 参照

●水側・湯側は正しく接続されていますか？

→ 正しく接続されていない場合、電磁弁を取付け直してください。

② 電磁弁の取付け 参照

●湯側・水側止水栓は開いていますか？



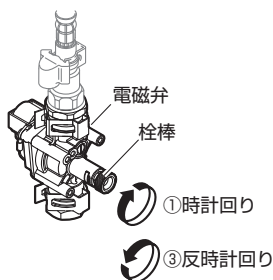
本誌
施工・取扱説明書は
必ずお客様に
お渡しください。

吐水・止水時に弁鳴り(チャタリング)する場合

電磁弁にエアが入っていませんか？

→ 電磁弁の栓棒を元に戻します。(※)

- ① 電磁弁の栓棒を時計回りに回転させます。(当たりまで)
- ② 30秒程度連続吐水させます。
・止水栓が開いていれば、リモコン操作をしなくても吐水します。
- ③ 電磁弁の栓棒を反時計回りに回転させます。(当たりまで)
- ④ 手順①～③を3回繰り返します。
- ⑤ 吐水口本体に手を触れて、吐水および止水させ、吐水の乱れや弁鳴り(チャタリング)が無いことが確認できれば完了です。



(注) 以上の点検を行っても正常に作動しない場合は、取扱説明書P40～41「故障?その前に」をご確認ください。

ご使用について ご使用に関する安全上のご注意

- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果（傷害・物損）に結び付く可能性があります。
いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

用語および記号の説明

- 警告** 「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じる事が想定されます。」
- 注意** 「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害が発生する危険な状態が生じる事が想定されます。」
-  「注意しなさい！」（上記の「警告」「注意」と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項を守ってください。）
-  「してはいけません！」（一般的な禁止記号です。）
-  「水や液体をかけたり、浸けてはいけません！」
-  「バスルームやシャワールームなどの水場で使用してはいけません！」
-  「触れてはいけません！」
-  「分解してはいけません！」
-  「指示通りにしなさい！」（一般的な行動指示記号です。）
-  「電源プラグをコンセントから抜きなさい！」

警告



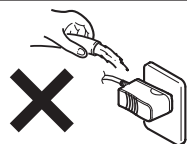
禁止

本製品は、日本国内のキッチン・洗面用です。
それ以外の条件下では使用しないでください。



禁止

ACアダプターや電磁弁・コントローラー・コード類に水や洗剤、汚水をかけないでください。
火災や感電の原因になります。



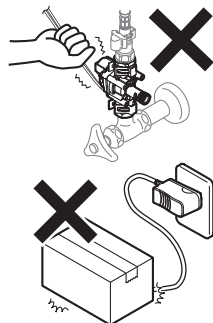
禁止

ACアダプターおよびコード類が破損するようなことをしないでください。

【してはいけない例】

- 傷つける ●加工する ●無理に曲げる
- ねじる ●引っ張る ●重いものを載せる
- 挟み込む ●加熱する

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

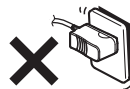


⚠ 警告



禁止

ガタついているコンセントは使用しないでください。
火災や感電の原因になります。



禁止

指定された電源(AC100V)以外で使用しないでください。
火災の原因になります。



禁止

コンセントや配線器具の定格を超える使い方は避けてください。
火災の原因になります。



禁止

電源コードの加工(切断・継ぎ足し)を行わないでください。
火災や感電の原因になります。



禁止

雷が発生しているときは、ACアダプターに触らないでください。
感電の原因になります。



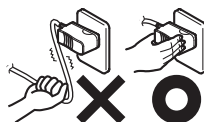
禁止

ACアダプターを濡れた手でさわらないでください。
感電の原因になります。



必ず実行

ACアダプターを抜くときは、必ずACアダプター本体を持って抜いてください。
火災や感電の原因になります。



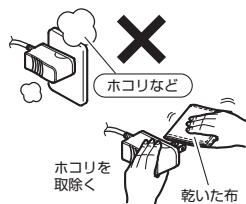
必ず実行

ACアダプターをコンセントに差し込むときは、根元まで十分差し込んでください。
火災や感電の原因になります。



必ず実行

ACアダプターについてのホコリは、
取除いてください。
ACアダプターの端子にホコリがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。
ACアダプターを抜き、乾いた布で拭いてください。



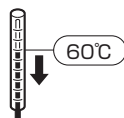
⚠ 警告



禁止

給湯温度は60℃より高温で使用しないでください。

高温の湯が出るとやけどをするおそれがあります。また、60℃以上で
ご使用になると器具の寿命が短くなります。なお、誤操作などによる
やけど防止のため、50～60℃給湯をおすすめします。

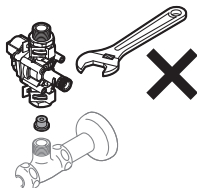


禁止

**この商品を構成する部品以外の取付けや、部品の
取りはずしなどの改造はしないでください。**

故障や感電の原因になります。

また、商品の性能を損ない、やけど・けがをし
たり、水漏れにより家財などをめらす財産損害
発生のおそれがあります。



禁止

**高精度な制御や微弱な信号を取扱う電子機器や
医療機器の近くで使用しないでください。**

自動制御機器やペースメーカー、その他医療機器に影響を与え、事故の原因と
なるおそれがあります。当該の医療機器メーカーもしくは販売業者に電波に
よる影響についてご確認ください。

なお、このリモコンは微弱電波無線機器に該当し、出力は
315MHz帯、500μV/m以下です。



禁止

**浴室や屋外など湿気やほこりの多い場所には
設置しないでください。**

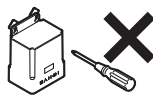
故障や感電の原因になります。



禁止

**絶対に分解したり、修理・改造は行わない
でください。**

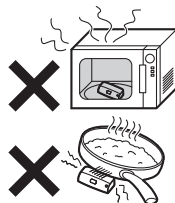
火災や感電の原因になります。



禁止

**リモコンを調理機器などで加熱しないでください。
また、加熱直後の調理器具など、熱のある部分に
接触させたり、熱源の近くに置いたりしないで
ください。**

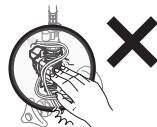
やけどや故障の原因になります。



禁止

**湯側電磁弁とその周辺に、直接肌を触れな
いください。**

給湯側のため高温になっており、やけどをするおそ
れがあります。



⚠ 警告



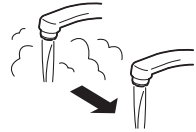
湯水を使う前に、必ず手で適温であることを確かめてください。

必ず実行 高温の湯が出て、やけどをするおそれがあります。



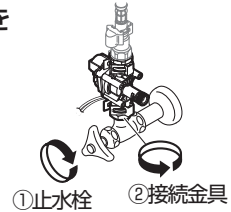
湯をお使いの後は、しばらく水を流してから止水してください。

必ず実行 次に使用する際、水栓内に残っている高温の湯が出て、やけどをするおそれがあります。



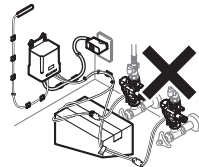
ストレーナの掃除をする際は、いきなり接続金具をゆるめずに、止水栓を閉めてから行ってください。また、湯側電磁弁が熱くないことを確認してください。

必ず実行 高温の湯が出て、やけどをしたり、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。
参照：P14



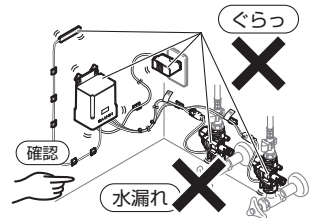
収納物などを収納する際は、コード類に引っ掛からないように注意してください。

必ず実行 コードが断線し、感電・故障の原因となります。



定期的に、配管周りの水漏れや、ガタツキがないか確認してください。

必ず実行 劣化・摩耗などで部品が破損し、やけど・けがをしたり、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



下記のものは、子供が飲み込まないように注意してください。

必ず実行 ●電池 ●アンテナカバー ●ねじ
●フック ●コードクランプ ●ゲルシート
万一、飲み込んだときは、ただちに医師と相談してください。



⚠ 注意

製品に強い力や衝撃を与えないでください。

【してはいけない例】

- 固いものをぶつける
- 重いものを載せる

故障や漏水の原因になります。



禁止



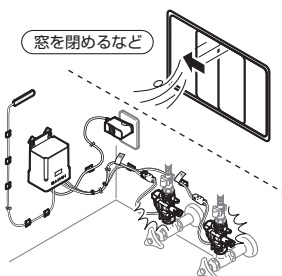
屋外や凍結が予想される場所では
使用しないでください。

部品が破損し、水漏れして家財などをぬらす財産
損害発生のおそれがあります。

凍結のおそれがある場合は、保温材を巻くなど、
周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。
凍結による破損は、保証期間内でも有料修理と
なります。



禁止

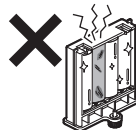


新・旧および異なる種類の電池を混ぜて使
用しないでください。

電池の破裂、液漏れにより、けがや周囲を汚損する
原因になります。



禁止



ご使用の際は、ACアダプターでご使用ください。
バックアップ電池のみでのご使用はお控えください。



必ず実行

ご使用後は、水栓のハンドル（レバー）
を閉めてください。

不意にリモコンが反応し、家財などを濡らす財産
損害発生のおそれがあります。



必ず実行



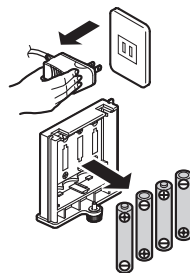
長期間使用しないときは、止水栓または配管部の
元栓を閉め、下記のことを行ってください。

- ACアダプターを抜く
 - コントローラーの電池を取りはずす
- （参照：P33～34 コントローラーの電池交換）

誤作動や故障などによる予想しない事故や、電池の
液漏れによるけがや周囲を汚損する原因になります。



必ず実行



⚠ 注意

本体をお手入れする際は、次のものは絶対に使用しないでください。

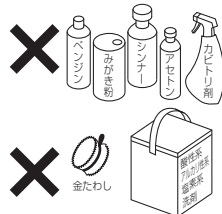
【使用してはいけないもの】

- 酸性・アルカリ性および塩素系の洗剤類
※特に酸性洗剤はメッキを侵します。
- ベンジン・シンナー・ラッカー・アルコールなどの溶剤や油類
- クレンザーなどの粒子の粗い洗剤
- ナイロンたわし・メラミンフォームなど
本体の割れや変色変質の原因となります。



禁止

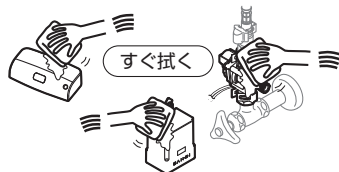
使用してはいけないものの例



必ず実行

水滴や泡・洗剤・薬品が本体に付着した場合は、すぐにきれいに拭き取ってください。

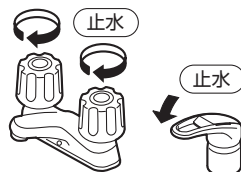
本体の割れや変色変質の原因となります。



必ず実行

リモコンをはずしたり、移動したりする際は、水栓のハンドル（レバー）を閉めてください。

不意にリモコンが反応し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



リモコンを取付ける際の注意事項

- リモコン検知窓の上を覆わないでください。

誤作動の原因となります。

- リモコン検知窓付近に障害物を置かないでください。

誤作動の原因となります。特に、金属製のもの（コップ、スプーン、皿、ボウルなど）を置いた場合は、感知距離範囲外であっても誤作動を引き起こすおそれがありますので、ご注意ください。



直射日光の当たる場所で使用しないでください。

誤作動の原因になります。



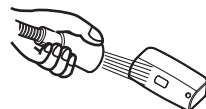
リモコン正面の壁に鏡などの反射物を設置しないでください。

誤作動の原因になります。





リモコンに直接水をかけないでください。
誤作動や故障の原因になります。水が浸入して漏水し、
家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



リモコンの検知窓の汚れは拭き取ってください。
汚れたまま使用すると、誤作動の原因となり、
家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
検知窓を掃除する際はレバーを閉めてください。



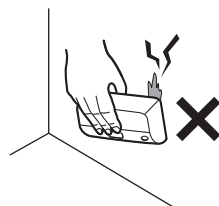
禁止

リモコンは壁面や、しっかり固定できない場所には
取付けないでください。

落下の原因になります。

また、表面材質の弱い場所にリモコンを取付けない
でください。

塗装面や壁紙・化粧紙仕上げ・その他表面処理や材質に
よっては、リモコン取りはずし時に塗装や表面材がは
れたり、変色・劣化するおそれがあります。



必ず実行

リモコンを貼付けるときは、貼付面の
汚れをきれいに拭き取ってください。

汚れたまま貼付けると、ゲルシートの強度が落ち、
落下の原因になります。



必ず実行

リモコンの電池を交換する際は、表面を保護
するために、リモコンをゆっくりはがしてくだ
さい。

強い力で急にはがすと、リモコン取付部を傷つけたり、
塗装や表面材がはがれる原因になります。



ゆっくり傾けながら
回すようにはがす



禁止

リモコンは何度も取りはずさないでください。
ゲルシートの粘着力が落ち、落下の原因になります。
粘着力が落ちた場合は、ゲルシートを交換してください。

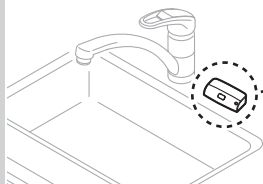


繰り返し

ご使用について リモコンの設置

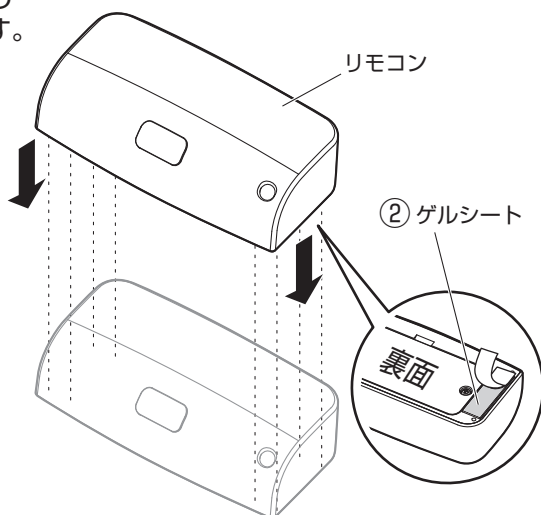
- P22～23「リモコンを取付ける際の注意事項」をご確認の上、設置してください。

取
付
位
置



水栓本体の横など手をかざしやすい位置に設置してください。壁面などは落下により破損の原因となりますのでおやめください。
リモコンの取付位置は、お客様とご相談ください。

- ①リモコンに電池を入れます。
※P31～32参照
- ②リモコン裏面のゲルシートのはくり紙をはがし貼付けます。



ゲルシートについて

- ゲルシートは水分が付くと粘着が弱まる性質があります。
粘着が弱いと感じたら、十分に乾燥させてから貼り付けてください。
- 貼って剥がせる特性上、壁面・垂直面には貼り付けしないでください。
- 剥がす際は、ゆっくりと剥がしてください。強く引っ張ると接地面の塗装などが剥がれてしまう場合があります。
- 長期間で使用されると剥がれにくくなる場合があります。
剥がしにくい場合は、薄いプラスチックのカードなどに水をつけ、ゲルシートと接地面の間にゆっくり差し込んでください。
再度貼り付ける際は十分に乾燥させてから貼り付けてください。

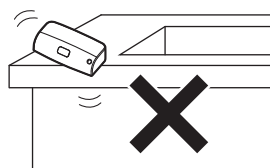
※P22～23 リモコンを取付ける際の注意事項と併せてご確認ください。

⚠ 注意



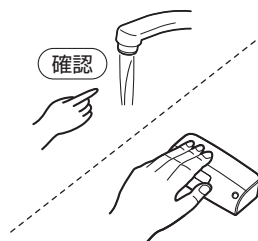
リモコンは落下しないように、必ず固定してご使用ください。

落下させると、リモコンが破損する原因になります。

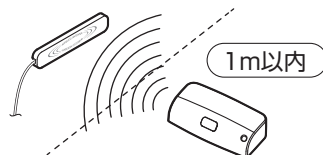


設置場所によって電波を送信しにくいことがありますので、固定前に動作を確認してから取付けてください。

電波を受信しにくい場合は、受信アンテナを外に出すか、受信アンテナまたはリモコンの取付位置を変えてみてください。



リモコンは受信アンテナから1m以内の範囲に設置してください。



次のような場合は、誤動作や動作しない原因となります。

- ・ カウンターが電波を阻害する材質である場合。
- ・ インバーターや電波を用いた他の機器が近くにある場合。
- ・ テレビ、ラジオの送信所や各種無線局が近くにある場合。
- ・ リモコンと受信アンテナの間に、金属など電波を通しにくい障害物がある場合。
- ・ 周辺が金属で囲まれるような場所に置いた場合。
- ・ 食器洗浄機などの機器が近くにある場合。
- ・ センサー検知窓に水滴・汚れ・泡・洗剤が付着している場合。



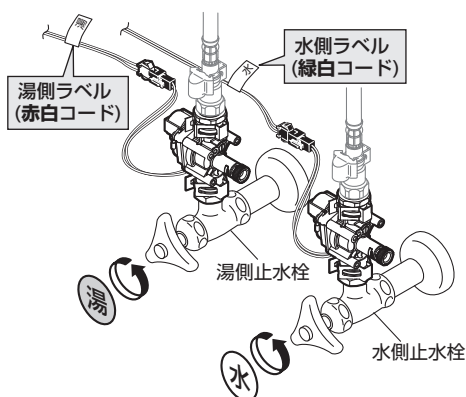
リモコン・受信アンテナは、鍋やアルミ箔などの金属で覆わないでください。

電波の受信ができず、動作しない原因になります。



電磁弁・キャビネット内の確認

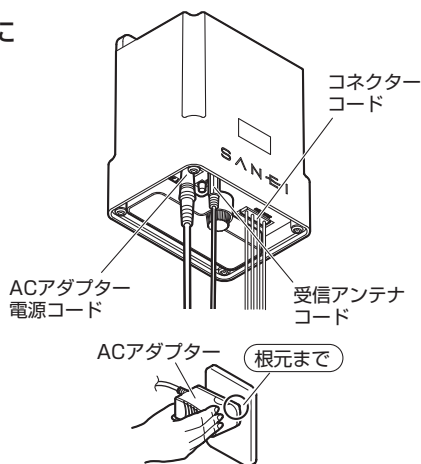
- 水側・湯側は正しく接続されていますか？
- 湯側・水側止水栓は開きますか？
- キャビネット内の引き出しや収納物などが、コード類や各部品を圧迫していませんか？



コード類・ACアダプターの確認

- コード類やACアダプターは、確実に接続されていますか？

- ①コネクター、受信アンテナ、ACアダプターのコードが確実に接続されていることを確認してください。
- ②コンセントにACアダプターが根元まで確実に差し込まれていることを確認してください。

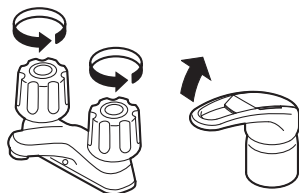


湯側電磁弁やその周辺には、コード類が触れないように注意してください。

給湯側のため高温になっており、劣化の原因になります。



ご使用前に



水栓のハンドル(レバー)を開けてください。

※ ハンドル(レバー)で、あらかじめ流量と温度を調節しておいてください。

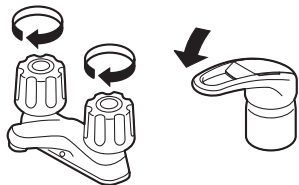
ご使用中は



※ LEDが点灯している間は再び手をかざしても次の動作の受け付けを行いません。
※ リモコンに強い力や衝撃を与えないでください。故障の原因になります。
※ 吐水後に操作をしなかった場合、およそ5分後に自動で止水します。

ご使用後は

水栓のハンドル(レバー)を閉めてください。



※ 長期間使用しないときは、止水栓または配管部の元栓を閉め、下記のことを行ってください。

- ACアダプターを抜く
- コントローラーの電池を取りはずす
(参照：P33～34)

誤作動や故障などによる予想しない事故や、電池の液漏れによるけがや周囲を汚損する原因になります。

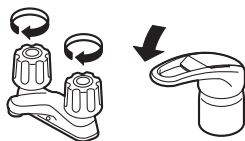
ご使用について リモコンのペアリング

リモコンを増設すると、対面キッチンの両側など、複数の場所から水を出し止めすることができます。

別売のリモコン（品番：MEK801-5F1）をお求めいただいた場合は、リモコンのIDコードをコントローラーに登録してください。

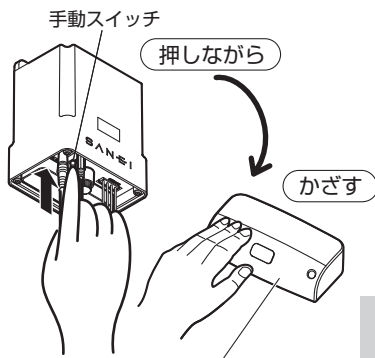
また、登録したIDコードを削除すると、そのリモコンの使用を中止することができます。

作業の前に



水栓のハンドル（レバー）を
閉めてください。

増設・削除

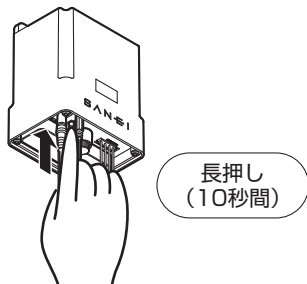


増設するリモコンもしくは
削除するリモコン

- ① コントローラーの手動スイッチを押した状態で、増設（もしくは削除）するリモコンに手をかざします。
- ② コントローラーより、
（増設の場合）「ピッ」
（削除の場合）「ピーッ」
という音が鳴れば完了です。

※ リモコンにはIDコードが登録されています。
IDコードをコントローラーに登録しないと、
リモコンを使用することができません。
※ リモコンは、最大4台まで設置可能です。

登録したIDコードの全削除



- ① コントローラーの手動スイッチを長押し（10秒間）します。
- ② コントローラーより、「ピーッ」
という音が鳴れば完了です。

※ IDコードの全削除後、再度リモコンを使用する場合は、上記「増設・削除」の手順を行い、IDコードを再登録してください。

日頃のお手入れ 汚れの拭き取り

製品についた汚れを放置しておくと、汚れが落ちにくくなることがあります。快適にお使いいただくために、日頃のお手入れをおすすめします。

- 柔らかい布で水拭きして、よくしぼった布で汚れを拭き取ってください。
- 汚れが目立つときは、中性洗剤を柔らかい布にふくませて拭き取った後水拭きして、よくしぼった布で汚れを拭き取ってください。

⚠ 注意

- 中性洗剤以外は使用しないでください。

中性洗剤以外を使用すると、変色や破損のおそれがあります。

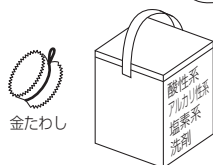
- 本体をお手入れする際は、次のものは絶対に使用しないでください。

【使用してはいけないもの】

- 酸性・アルカリ性および塩素系の洗剤類
※特に酸性洗剤はメッキを侵します。
- ベンジン・シンナー・ラッカー・アルコールなどの溶剤や油類
- クレンザーなどの粒子の粗い洗剤
- ナイロンたわし・メラミンフォームなど

本体の割れや変色変質の原因となります。

使用してはいけないものの例



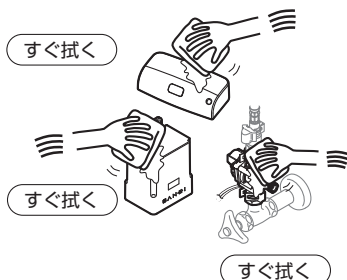
禁止



必ず実行

水滴や泡・洗剤・薬品が本体に付着した場合は、すぐにきれいに拭き取ってください。

本体の割れや変色変質の原因となります。

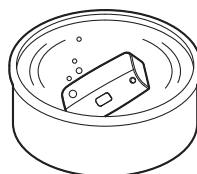


禁止

リモコンを水洗いしたり、水没させたりしないでください。

リモコン内部に水が入り、故障の原因になります。

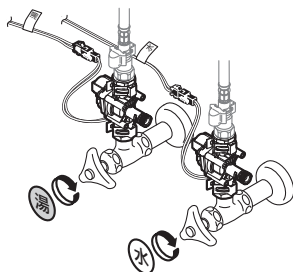
ただし、ぬれた手で操作する程度は問題ありません。



日頃のお手入れ ストレーナの掃除

ストレーナの汚れを放置しておくと、十分な機能を発揮できないことがあります。快適・衛生的にお使いいただくために、日頃のお手入れをおすすめします。(近所で水道工事があったり、長期間使用し湯水の出が悪くなった場合にも、汚れの点検・お手入れをおすすめします。)

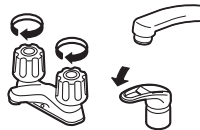
- 1** 湯側・水側の止水栓を閉めます。



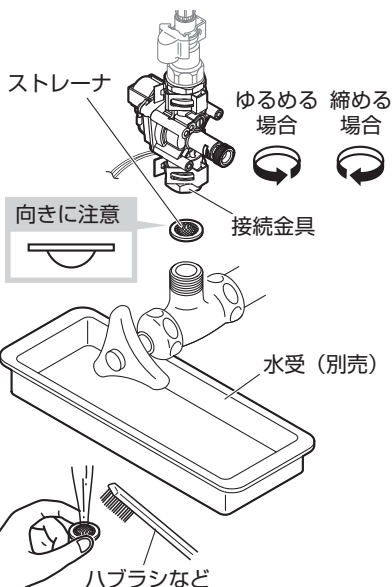
- 2** 水栓のハンドル(レバー)を開け、湯・水ともに通水状態にします。こうすることで、水栓内部の圧力を抜きます。



- 3** ハンドル(レバー)を閉じます。



※ シングルレバー混合栓の場合は、ハンドル(レバー)を湯・水の中央位置で開閉してください。



- 4** 電磁弁下部の接続金具をゆるめます。

- 5** 電磁弁を上によらし、ストレーナを取出します。

※ 作業の際は、止水栓の下に水受(別売)を設置してください。
 ※ ストレーナは、湯側・水側の2箇所あります。
 ※ 湯側のストレーナをはずす際は、高温の湯が出る場合がありますのでご注意ください。

- 6** ストレーナに詰まったごみや汚れを、ハブラシなどで取除きます。

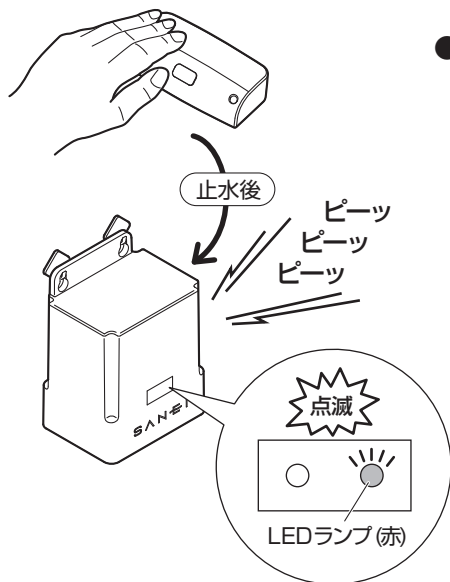
- 7** ストレーナを取付け、袋ナットを締めます。

※ ストレーナの向きに注意してください。

- 8** 止水栓を調節しながら開けます。

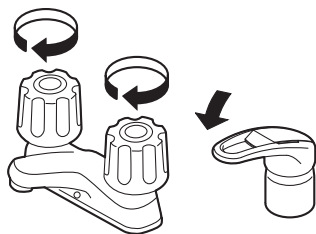
※ 作業終了後、必ず水漏れのないことを確認してください。

リモコンの電池は、アルカリ乾電池（単3×2本）使用しています。
吐水・止水の回数（吐水・止水で1回）が1日100回程度の使用で、約2年使用できます。
使い方（使用頻度）や周囲の温度によっては、2年より短くなったり、長くなったりします。電池を1年以上使用している場合は早めに交換してください。



- リモコンの電池が切れかかると、止水後にコントローラーからブザーが3回鳴り、LEDランプ（赤）が点滅します。

この場合、早めに電池を交換してください。



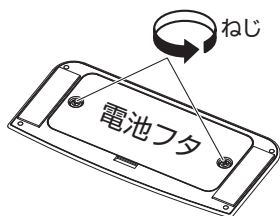
- ① ハンドル（レバー）を閉じます。



- ② リモコンを両手で持ち、ゆっくり傾けながら、回すようにはがします。

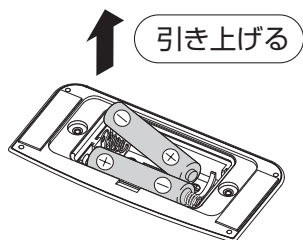
強く付いていることがあります、
ゆっくり回すとはずれます。

参照：P24



3 リモコン裏面のねじ (2本)をゆるめ、電池フタをはずします。

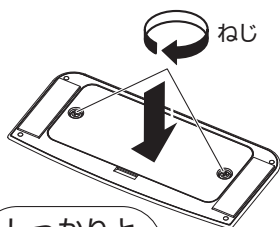
※ ねじ・電池フタを無くさないように注意してください。



新しい電池を
+-を確認して交換する

4 古い電池を取出し、新しい電池に交換します。

※ 使い切った乾電池は、早めに取り出してください。
 ※ 必ず、アルカリ乾電池をご使用ください。
 ※ 充電式の乾電池は使用しないでください。
 ※ 電池は極性表示に注意して、+-の方向を正しく入れてください。
 ※ 新・旧および異なる種類の電池を混ぜて使用しないでください。
 ※ 使用済みの電池は、セロハンテープで絶縁し、不燃物のごみとして処理してください。
 (処理方法については、ご住まいの市町村の指示に従ってください。)



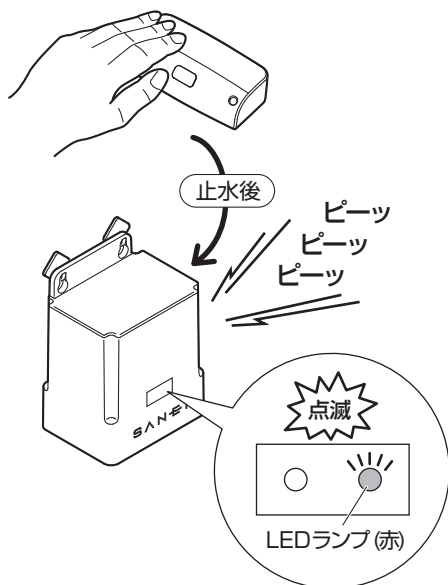
しっかりと
押さえ込む

5 防水のため、電池フタをよく押し込んでから取付ねじ(2本)で取付けます。

※ リモコン内に水が入らないように注意してください。
 ※ ねじは必ず2本すべて取付けてください。水がリモコン内に入るおそれがあります。
 ※ 電池フタをはめる際は、浮きが無いようにしっかりと押さえ込んでください。

定期的な点検 コントローラーの電池交換 (バックアップ用)

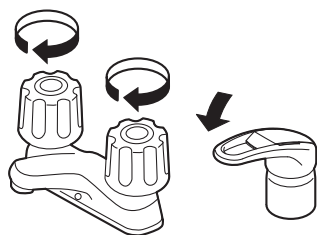
コントローラーの電池は、別売のアルカリ乾電池 (単3×4本) を使用します。停電時や、ブレーカーが落ちるなどして主電源が切れると、バックアップとしてコントローラーの電池が電源として働き、電池を消耗します。



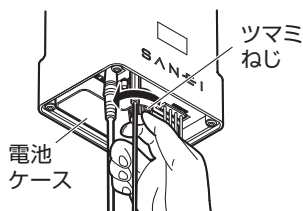
- コントローラーの電池が切れかかると、止水後にコントローラーからブザーが3回鳴り、LEDランプ (赤) が点滅します。この場合、早めに電池を交換してください。

⚠ 注意

ご使用の際は、ACアダプターでご使用ください。
バックアップ電池のみでのご使用はお控えください。

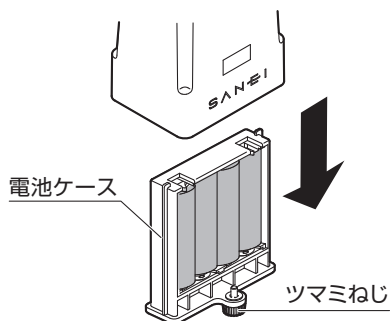


- ① ハンドル (レバー) を閉じます。

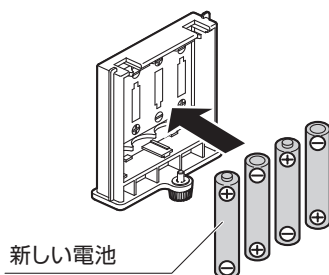


- ② コントローラー下部のツマミねじをゆるめます。

3 電池ケースを抜き出します。



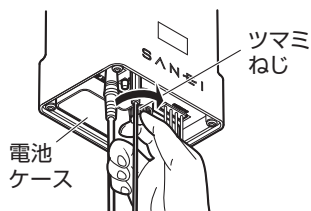
4 古い電池を取出し、新しい電池に交換します。



- ※ 使い切った乾電池は、早めに取出してください。
- ※ 必ず、アルカリ乾電池をご使用ください。
- ※ 充電式の乾電池は使用しないでください。
- ※ ツマミねじは、はずれやすいので無くさないように注意してください。
- ※ 電池は極性表示に注意して、＋の方向を正しく入れてください。
- ※ 新・旧および異なる種類の電池を混ぜて使用しないでください。
- ※ 使用済みの電池は、セロハンテープで絶縁し、不燃物のごみとして処理してください。
(処理方法については、ご住まいの市町村の指示 に従ってください。)

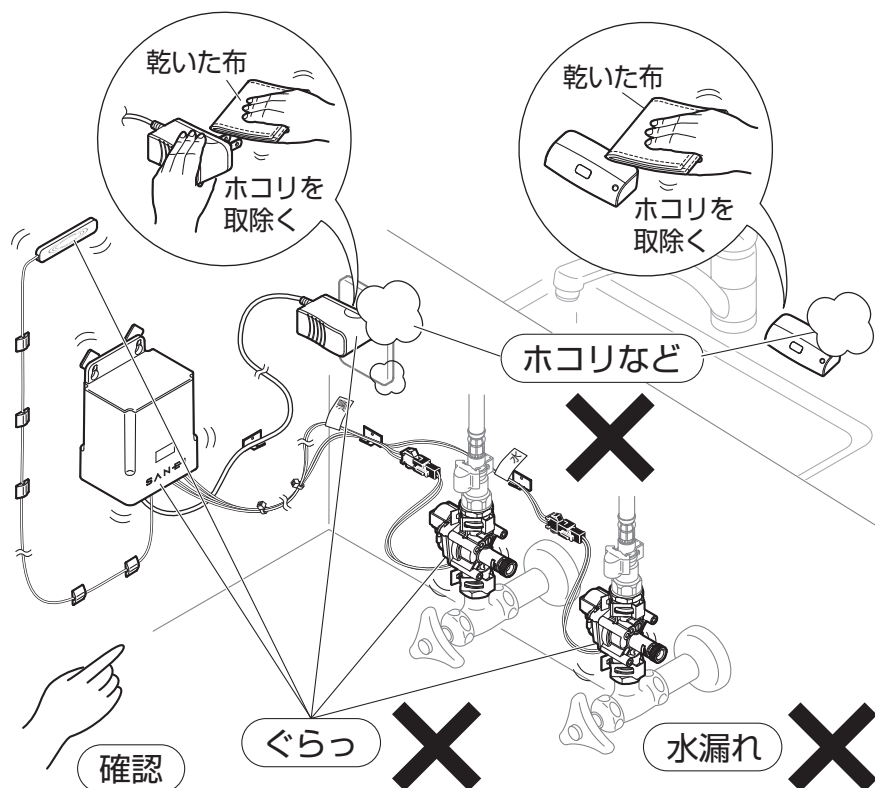
5 電池ケースをコントローラーの奥までしっかりと差し込み、ツマミねじで固定します。

- ※ コントローラー内に水が入らないように注意してください。



定期的な点検 配管周りの水漏れ・器具のガタツキ・ホコリの除去

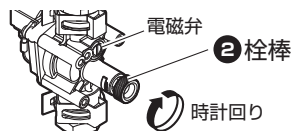
- 定期的に、配管周りの水漏れがないか確認してください。（…年2回を目安）
- 漏水を確認した場合は、止水栓または配管中の元栓を閉めてください。
修理の依頼をされる場合は、「保証とアフターサービス」（P44～45）を参照してください。
- 定期的に、器具のガタツキがないか確認してください。（…年2回を目安）
劣化・摩耗などで部品が破損し、やけど・けがをしたり、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- 定期的に、ACアダプターについてのホコリを取除いてください。（…月1回を目安）
ACアダプターの端子にホコリなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。
ACアダプターを抜き、乾いた布でホコリを取除いてください。
- 定期的に、リモコンについてのホコリを取り除いてください。（…月1回を目安）
検知窓にホコリなどがたまると、誤作動の原因となり、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



凍結予防について 寒冷地用の水抜き方法

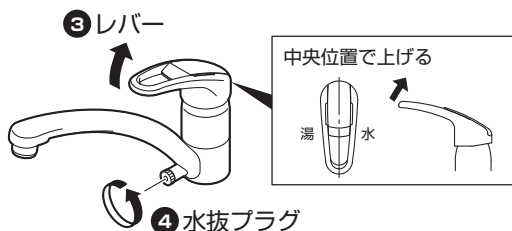
寒冷地用において凍結のおそれがある場合は、下記の方法で水抜きをしてください。
※取付ける水栓によって構造が異なります。詳細は水栓本体の取扱説明書を参照してください。

- 1 元栓を閉め、配管の水抜き栓を開けます。
- 2 電磁弁の栓棒を時計回りに当たりまで回転させます。



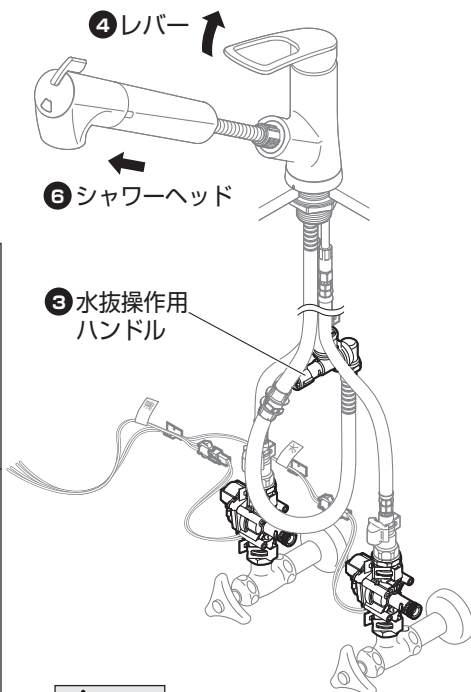
水栓に水抜きプラグがついている場合

- 3 レバーを中央位置（湯側・水側の中間）で上げます。
- 4 水抜きプラグをゆるめます。
- 5 再使用時は、水抜き手順と逆の手順で各部を戻してください。

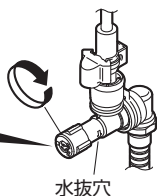


水抜き操作ハンドルがシャワーホース接続部に設置されている場合

- 3 水抜き操作ハンドルを回す。
- 4 レバーを上げ、右側いっぱいに戻します。
- 5 レバーを上げたまま、左側いっぱいに戻します。
- 6 シャワーヘッドをよく振ります。



3 水抜き操作ハンドル



4 レバー



6 シャワーヘッド



5 レバー



- 7 再使用時は、水抜き手順と逆の手順で各部を戻してください。



注意

●水抜き部は高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。ご注意ください。

◆リモコンの電池が切れたら？

- 早めに電池を交換してください。
- 電池交換ができない場合は、電磁弁を強制開放すると、通常の水栓として使用することができます。

参照：P31～32

参照：P38 **1**

◆リモコン反応しなかったら？

- 以下の内容をご確認いただき、それでも反応しない場合「保証とアフターサービス」を参照してください。
 - ・乾いた布でリモコンを拭いてください。
 - ・新しいアルカリ乾電池に交換してください。

参照：P44～45

参照：P35

参照：P31～32

◆リモコンを紛失したら？

- 電磁弁を強制開放すると、通常の水栓として使用することができます。
- 別売のリモコン（品番：MEK801-5F1）をお求めいただいた場合は、リモコンのIDコードをコントローラーに登録してください。

参照：P38 **1**

参照：P28

◆コントローラーの電池が切れたら？

- 早めに電池を交換してください。

参照：P33～34

※ ACアダプターで駆動できれば、停電時以外はリモコンを使用することができます。

◆コントローラーが故障したら？

- 緊急措置として、電磁弁の栓棒を回してください。

参照：P38 **1**

◆停電したら？

※ 停電すると、コントローラーはACアダプターでの駆動から電池駆動に切替わります。停電が復旧すると、ACアダプターでの駆動に戻ります。

※ コントローラーの電池が切れている場合は、手動スイッチを押しても作動しません。

- この場合、コントローラーの電池を交換してください。
- 本製品は、停電時等でもバックアップ電池により作動可能とされていますが、停電時にバックアップ電池が消耗して使用できない場合は、緊急措置として、電磁弁を強制開放してください。

参照：P33～34

参照：P38 **1**

◆吐水・止水時に弁鳴り(チャタリング)したら？

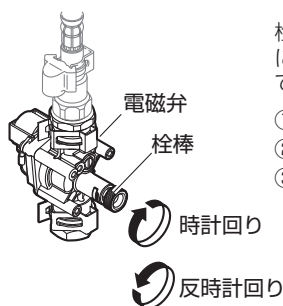
- 電磁弁からエアーを抜いてください。

参照：P38 **2**

●電磁弁の栓棒を回し、電磁弁を強制開放します。

※ この措置は、あくまで停電時・故障時の緊急用として行ってください。

この状態での長期使用は機器の寿命を縮める原因になりますので、ただちに電池交換を行っていただくことで通常使用に戻っていただくか、電力供給開始までのご使用をお控えください。



栓棒を時計回りに回して、電磁弁を強制的に“開”の状態にすると、通常の水栓としてご使用いただけます。

- ① 栓棒を時計回りに当たりまで回して強制開放します。
- ② ご使用の水栓のレバー操作等で吐止水を行ってください。
- ③ 停電から復旧しましたら栓棒を反時計回りに当たりまで回してください。

※ 栓棒は、当たりまで回してください。

●電磁弁を強制的に開閉してエアーを抜きます。

①の図を参考に、下記操作を行ってください。

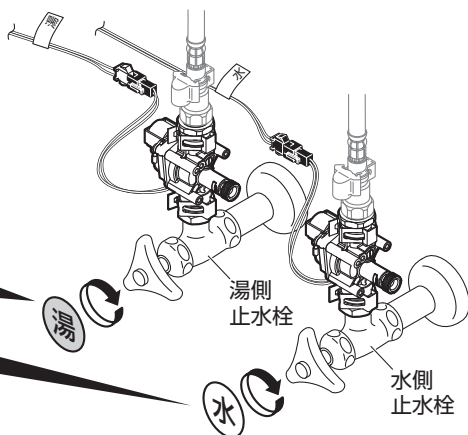
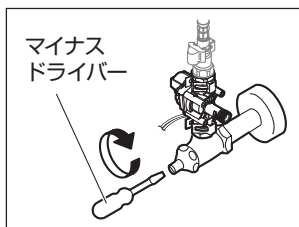
- ① 栓棒を時計回りに当たりまで回して強制開放し、30秒程度連続吐水させます。
- ② 30秒程度連続吐水させます。
- ③ 電磁弁の栓棒を反時計回りに当たりまで回します。
- ④ 手順①～③を3回繰り返します。
- ⑤ ご使用の水栓で吐止水させて、吐水の乱れや弁鳴り(チャタリング)がないことを確認できたら完了です。

こんなときは 漏水した場合の処置

漏水した場合は、止水栓または配管中の元栓を閉めてください。

止水栓の閉め方

カウンター下に止水栓がある場合、ハンドルを回して水を止めてください。



元栓の閉め方

元栓ボックス（メーターボックス）のふたを開け、元栓を右に回して閉めます。

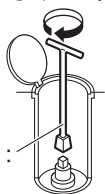
- ※元栓を閉める前に給湯機や洗濯機などの使用は止めてください。
- ※閉栓後は近くの水栓などで給水が止まっていることを確認してください。
- ※一部の地域では左回しの場合があります。
- ※元栓がどこにあるかわからない場合は、水道局にお問い合わせください。

■ 戸建て住宅などの元栓ボックス：

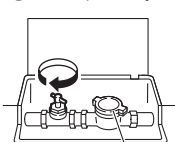
主に玄関やガレージ付近の地面にあります。

古い戸建て住宅の場合は道路に円形のキー式ボックスがあったりします。

●キー式



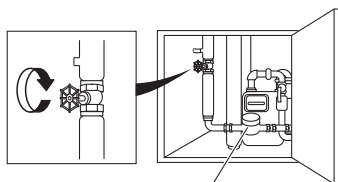
●ハンドル式



■ マンションなどの中高層住宅の元栓ボックス：

主に玄関を出た階段の踊り場に鉄の扉があり、電気やガスのメーターと共に水道メーターと元栓があります。

お隣と共通のボックス内で元栓の場所がわからない場合は、水道料金の検針票などでご自分の水道メーター番号を確認してください。

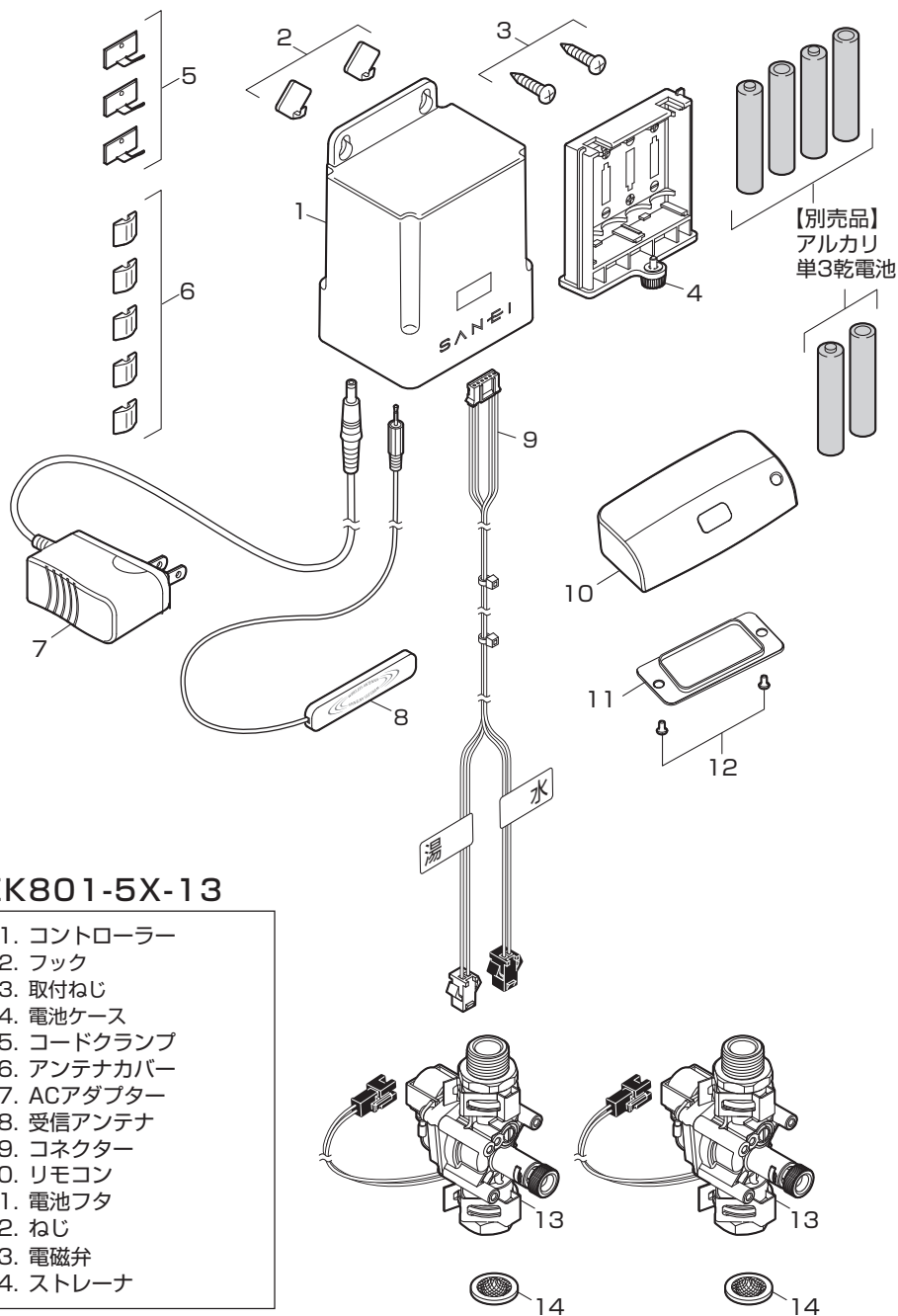


こんなときは 故障？ その前に

- 修理をご依頼される前に、次の表に従って点検してください。
- 下記の点検を実施されても、不具合がなくならない場合はお手数ですがお買上げの販売店（工事店）に修理をご依頼ください。

現象	点検項目	処置
水が出ない	水栓のハンドル(レバー)は開いていますか。	水栓のハンドル(レバー)を開ける。
	止水栓は開いていますか。	止水栓を開く。
	ACアダプターはコンセントに差し込まれていますか。	ACアダプターを差し込む。 参照：P26
	ストレーナのゴミづまりはありませんか。	ストレーナの掃除をする。 参照：P30
	コントローラーの電池の向きは正しいですか。	電池を正しい向きで入れ直す。 参照：P33～34
	リモコンに電池は入っていますか。	電池を入れる。 参照：P31～32
	リモコンの電池の向きは正しいですか。	電池を正しい向きで入れ直す。 参照：P31～32
	コード類は確実に接続されていますか。	コード類を確実に接続する。 参照：P26
	停電中ではありませんか。	電磁弁を強制的に開放する。 参照：P38 (コントローラーの電池が切れている場合) 電池を交換する。 参照：P33～34
	断水中ではありませんか。	回復するまで待つ。
	リモコンと受信アンテナの距離が1m以上ではありませんか。	リモコンと受信アンテナの距離を1m以内にします。
	金属面にリモコンや受信アンテナを付付けていませんか。	金属面以外の場所に取付ける。
	リモコンと受信アンテナの間に鍋や組み込み型食器洗浄機など金属製の障害物はありませんか。	障害物を取除く。 障害物を取除けない場合はリモコンまたは受信アンテナを移動する。
	電波やインバーターを用いた他の機器が近くにありませんか。	該当する機器を遠ざける。
	センサー検知窓に水滴、汚れ、泡、洗剤が付いていませんか。	柔らかい布でふきとる。 参照：P23
	直射日光の当たる場所で使用していませんか。	日当たりのよい場所での使用は避けてください。 参照：P22
水が止まらない	停電中ではありませんか。	電磁弁を強制的に開放する。 参照：P38 (コントローラーの電池が切れている場合) 電池を交換する。 参照：P33～34
	リモコンまたはコントローラーの電池が切れていませんか。	リモコンの電池を交換する。 参照：P31～32 コントローラーの電池を交換する。 参照：P33～34

現象	点検項目	処置
水が止まらない	金属面にリモコンや受信アンテナを取付けていませんか。	金属面以外の場所に取付ける。
	リモコンと受信アンテナの間に鍋や組み込み型食器洗浄機など金属製の障害物がありませんか。	障害物を取除く。 障害物を取除けない場合はリモコンまたは受信アンテナを移動する。
	電波やインバーターを用いた他の機器が近くにありませんか。	該当する機器を遠ざける。
	電磁弁が強制解放された状態になっていませんか。	電磁弁の栓棒を反時計回りに当たりまで回す。参照：P38
	センサー検知窓に水滴、汚れ、泡、洗剤が付いていませんか。	柔らかい布でふきとる。参照：P23
	直射日光の当たる場所で使用していませんか。	日当たりのよい場所での使用は避けてください。参照：P22
流量が少ない	止水栓は十分に開いていますか。	止水栓で流量を調節する。
	ストレーナのゴミづまりはありませんか。	ストレーナの掃除をする。参照：P30
高温しかでない	水側の止水栓は十分に開いていますか。	止水栓で流量を調節する。
	水側のストレーナのゴミづまりはありませんか。	ストレーナの掃除をする。参照：P30
低温しかでない	給湯機から十分な湯がきていますか。	給湯機の給湯温度・作動を確認する。
	湯側の止水栓は十分に開いていますか。	止水栓で流量を調節する。
	湯側のストレーナのゴミづまりはありませんか。	ストレーナの掃除をする。参照：P30
温度調節がうまくできない	湯側・水側の止水栓は調節されていますか。	止水栓で流量を調節する。
	給湯機から十分な湯がきていますか。	給湯機の給湯温度・作動を確認する。
	ストレーナのゴミづまりはありませんか。	ストレーナの掃除をする。参照：P30
吐止水時に 弁鳴り(チャタリング) する	電磁弁にエアーが入っていませんか。	電磁弁を強制的に開閉する。参照：P38
止水時 水撃音が鳴る	湯側・水側の止水栓は調節されていますか。	止水栓で流量を調節する。 ※それでも直らない場合は、水撃低減器をお買い求めください。 SANEI品番：T1670-13(水撃低減器)
止水後 ブザーが鳴る	リモコンまたはコントローラーの電池が切れていませんか。	リモコンの電池を交換する。参照：P31～32 コントローラーの電池を交換する。参照：P33～34



EK801-5X-13

1. コントローラー
2. フック
3. 取付ねじ
4. 電池ケース
5. コードクランプ
6. アンテナカバー
7. ACアダプター
8. 受信アンテナ
9. コネクター
10. リモコン
11. 電池フタ
12. ねじ
13. 電磁弁
14. ストレーナ

その他仕様

製品番号	EK801-5X-13	
電源	コントローラー	●AC100V：50／60Hz ●DC 6V：(別売)アルカリ乾電池 単3形×4本 電池寿命約2ヶ月(参考値) (100回／日使用時)
	リモコン	●DC 3V：(別売)アルカリ乾電池 単3形×2本 電池寿命約2年(参考値) (100回／日使用時)
	最大感知距離	約90～100mm
	自動止水機能	吐水してから5分後に 自動的に止水
消費電力	待機時：0.5W	
	動作時：5W	
給水圧力	最低必要水圧(流動時)：0.05MPa ※ただし、組み合わせる水栓の最低必要水圧+0.03MPa (流動時)以上の水圧が必要です。	
	最高使用水圧(静止時)：0.75MPa	
使用可能水質	水道水	
使用環境温度	0℃～40℃(凍結不可)	
最高給湯温度	60℃	
給水部接続	G1／2	
用 途	一般住宅台所・洗面用	
コード長さ	ACアダプター：1.8m 電磁弁+コネクター：1.1m (0.1m + 1.0m) 受信アンテナ：1.5m	



〔保証について〕

- この製品は保証書の内容に従って保証されています。
お買上げ(お取付け)年月日、販売店(工事店)名が記入してあることを確認してください。
- 保証期間中は保証書の規定に従って、修理をさせていただきます。
保証期間内でも有料になることがありますので保証書の内容をご確認ください。
保証期間は保証書を確認してください。
- 保証期間を過ぎていても修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

〔水栓の定期的な点検・部品交換について〕

水栓の性能を維持するために定期的な点検・部品交換が必要です。摩耗劣化部品は、5年を交換の目安としておりますが、逆止弁については、より安全を考え、早め(3～5年)の点検・交換をおすすめします。(交換時期は、使用環境などにより異なります。)

定期点検・部品交換

使用年数

1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12

お客様による日常のお手入れ・点検

買替え
ご検討

摩耗劣化部品の交換

日頃のお手入れについてはP29～30、定期的な点検についてはP31～35をご確認ください。

消耗部品とは、使われてなくなっていく部品のことです。

消耗部品の例／アルカリ乾電池など

摩耗劣化部品とは、日頃使用する度に摺動する、または摩耗及び劣化しやすい部品のことです。

摩耗劣化部品の例／装部品(センサー)・ストレーナ など

部品が摩耗劣化すると操作性低下、機能障害、劣化物流出や水漏れなどの原因になりますので、交換が必要です。部品の詳細についてはP41を参照してください。

〔補修用性能部品の供給期間〕

この製品の補修用性能部品(機能維持のために必要な部品であり、使用期間中に取替える可能性が高いもの)の供給期間は製造中止後10年です。

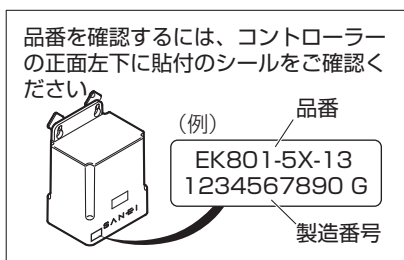
〔修理の依頼と部品交換の依頼について〕

- この製品は保証書の内容に従って保証されています。
お買上げ(お取付け)年月日、販売店(工事店)名が記入してあることを確認してください。
- 保証期間中は保証書の規定に従って、修理をさせていただきます。
保証期間内でも有料になることがありますので保証書の内容をご確認ください。
保証期間は保証書を確認してください。
- 保証期間を過ぎていても修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

- 修理依頼と部品交換依頼先:お求めの販売店(工事店)又は当社

- 連絡していただきたい内容:

- 住所、氏名、電話番号
- 品番、品名
- お買上げ(お取付け)年月日
- 故障内容、異常の状況(水漏れ箇所の説明など)、
部品交換の依頼
- 訪問希望日



- 当社の修理および部品交換料金は「技術料」+「部品代」+「出張料」で構成されています。
「技術料」……診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用。
「部品代」……修理および部品交換に使用した部品代。(無料修理で交換した古い部品・製品は当社の所有になります。)
「出張料」……製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用。

〔部品のご購入や修理の依頼、ご相談は〕

- まずは、お求めの販売店(工事店)へご相談ください。
ご不明な場合は当社カスタマーセンターへお問合せください。

S A N E I 株式会社

〒537-0023 大阪市東成区玉津1丁目12番29号
カスタマーセンター ☎ 0120-06-9721
受付時間 9:00~17:30(土日祝除く)
ホームページ www.sanei.ltd

<無料修理規定>

ご依頼の前に再度、取扱説明書をお読みいただきご確認ください。

1. 「取扱説明書」、「ラベル」などの注意書に従った正常な使用、維持管理状態で、保証期間中に故障した場合、無料修理いたします。
 2. ご転居、ご贈答品などで本保証書に記入の販売店(工事店)に修理を依頼できない場合は当社にご相談ください。
 3. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - (1) 使用、維持管理上の誤り及び不当な修理、改造による故障及び損傷
 - (2) 温泉水、中水、飲用不可な井戸水による故障及び損傷
 - (3) お買上げ(お取付け)後の取付場所の移動及びそれに伴う落下などによる故障及び損傷
 - (4) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害など、その他の事故及び損傷の原因が製品以外にある場合
 - (5) 電気製品における異常電圧、指定外の使用電源(電圧・周波数)及び外部ノイズなどに起因する不具合
 - (6) 消耗部品の劣化に伴う故障及び損傷
 - (7) 施工説明書などに基づかない施工、専門業者以外による移動・分解・改造などに起因する不具合
 - (8) 建築躯体の変形(強度不足・ゆがみ)など製品以外の不具合に起因する製品の不具合及び表面仕上げ、色あせなどの経年変化又は使用に伴う摩耗などにより生じる外観上の不具合
 - (9) 海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境に起因する不具合
 - (10) ねずみ、昆虫などの動物の行為に起因する不具合
 - (11) 砂やごみ、給水・給湯配管の錆など異物流入及び水あかの固着に起因する不具合
 - (12) 寒冷地仕様の製品で水抜きをされなかった場合や、寒冷地仕様でない製品の製品の凍結による故障及び損傷
 - (13) 本書の提示がない場合
 - (14) 本書にお買上げ(お取付け)年月日、お客様名、販売店(工事店)名の記載がない場合、あるいは字句の書き換えられた場合
 4. 本書は日本国内においてのみ有効です。
- ★ この保証書は本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
従って、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などにつきましてはお買上げの販売店(工事店)、または当社にお問合せください。
- ★ 補修用性能部品の保有期間についてご不明の場合は当社カスタマーセンターへお問合せください。

修理メモ

お買上げ(お取付け)年月日、お客様名、販売店(工事店)名など記入もれがありますと無効となります。必ずご確認ください。記入のない場合はお買上げ(お取付け)の販売店(工事店)に申し出ていただくか、レシート又は領収書を貼付してください。
本書は再発行いたしません。大切に保管してください。

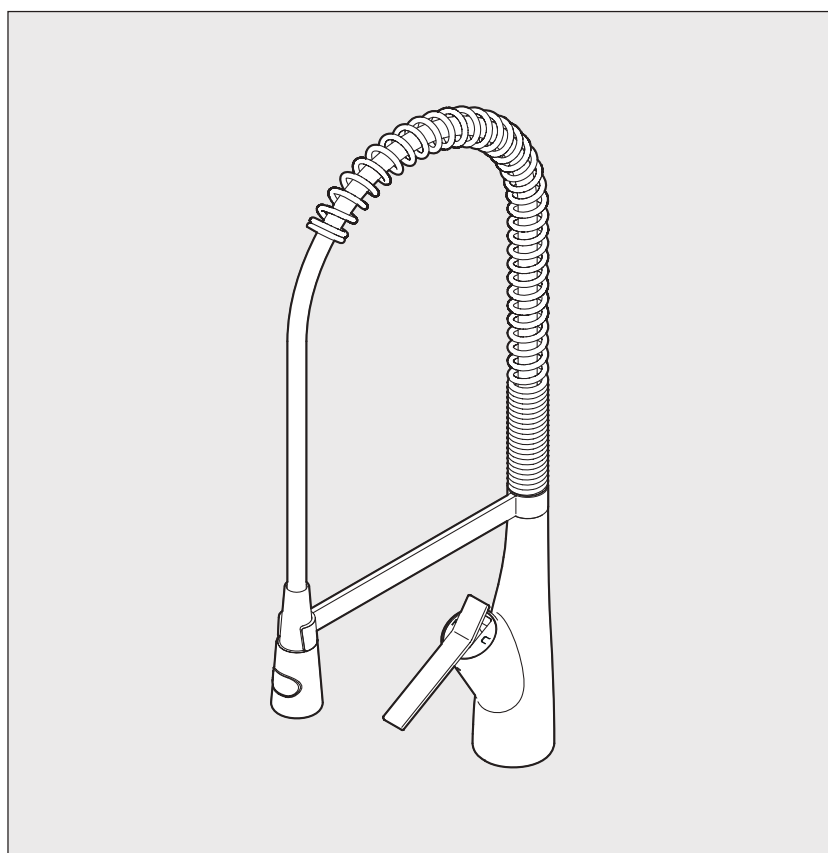
〒537-0023 大阪市東成区玉津1丁目12番29号
カスタマーセンター ☎ 0120-06-9721
受付時間 9：00～17：30(土日祝除く)
ホームページ www.sanei.ltd

シングルワンホールスプレー混合栓

..... K8731JV-13
K8731JV-13-LF
(寒冷地用 K8731JK-13)

施工・取扱説明書

施工、ご使用の前にこの説明書を必ずお読みのうえ、正しく施工、ご使用ください。



—お客様へ—

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも読める所に必ず保管してください。

なお、保証書にお買上げ（お取付け）年月日、販売店（工事店）名の記入のない場合はお買上げ（お取付け）の販売店（工事店）に申し出ていただくか、レシート又は領収書を貼付してください。

—工事店様へ—

施工後、保証書に貴店名ならびにお取付け年月日をご記入のうえ、本書と共にお客様へお渡しください。

本製品について

各部の名称.....	1
寸法図.....	2

施工について

施工に関する安全上のご注意.....	3
適切な使用条件.....	4
施工前のご注意.....	4
梱包明細.....	5
施工手順.....	6～10

ご使用について

ご使用に関する安全上のご注意.....	11～14
吐水・止水・温度調節.....	15
シャワーの使用方法.....	15～16

凍結予防について

一般用の場合.....	16
寒冷地用の場合(水抜方法).....	16

日頃のお手入れ

汚れの拭き取り.....	17
ストレーナの掃除.....	17
吐水口の掃除.....	18

定期的な点検

可動部分の点検.....	18
配管周りの水漏れ・器具のガタツキ.....	18
レバーのガタツキ.....	19

定期的な部品交換

逆止弁・シャワーホースの交換時期.....	19
-----------------------	----

こんなときは

故障？ その前に.....	20
本製品の構造.....	21

保証とアフターサービス

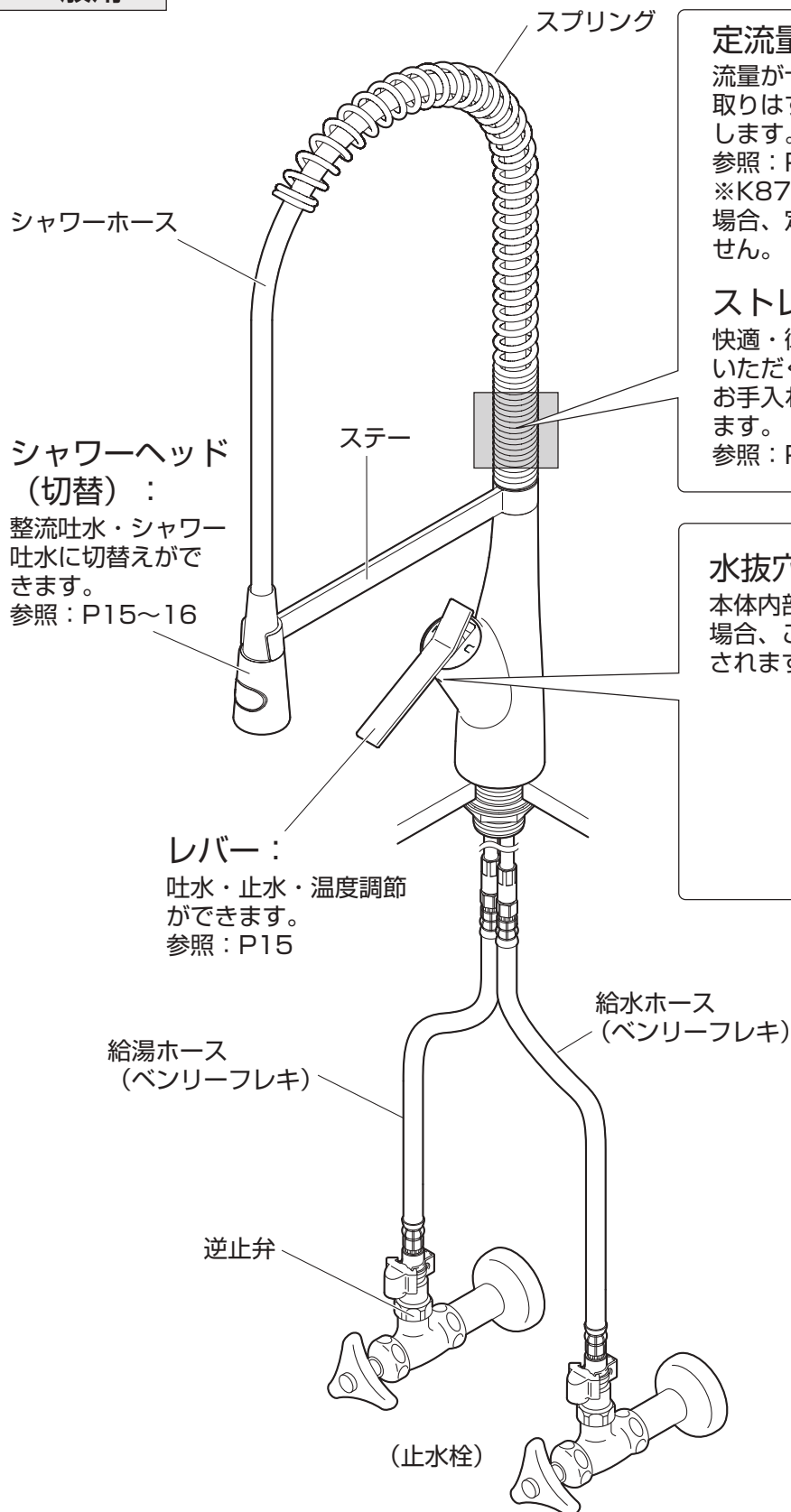
保証とアフターサービス.....	22
保証書.....	裏紙

本製品について

各部の名称

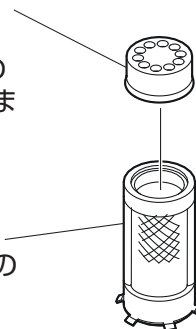
- 本製品は、レバーで吐水・止水・温度調節ができる操作しやすい混合栓です。
- 吐水・止水が簡単に行えますので、節水にも役立ちます。

一般用



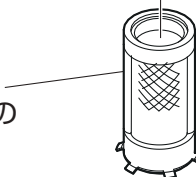
定流量弁：

流量が十分でない場合、
取りはずして流量を調節
します。
参照：P10
※K8731JV-13-LFの
場合、定流量弁はありま
せん。



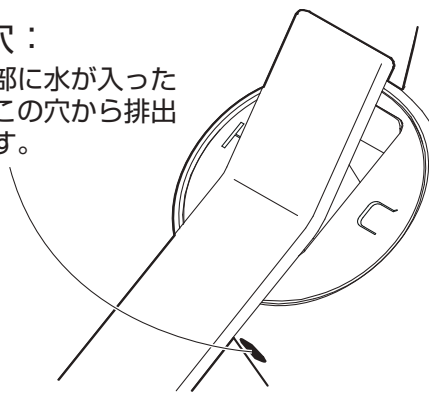
ストレーナ：

快適・衛生的にお使い
いただくために、日頃の
お手入れをおすすめし
ます。
参照：P17

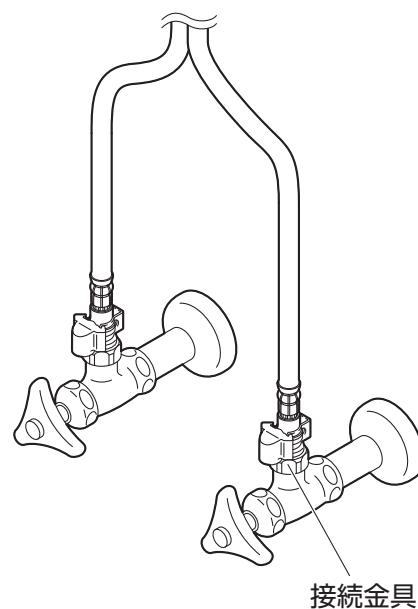


水抜穴：

本体内部に水が入った
場合、この穴から排出
されます。



寒冷地用

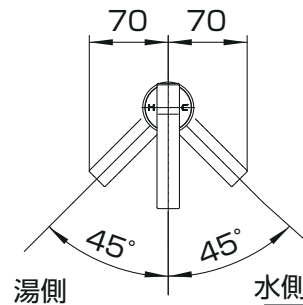
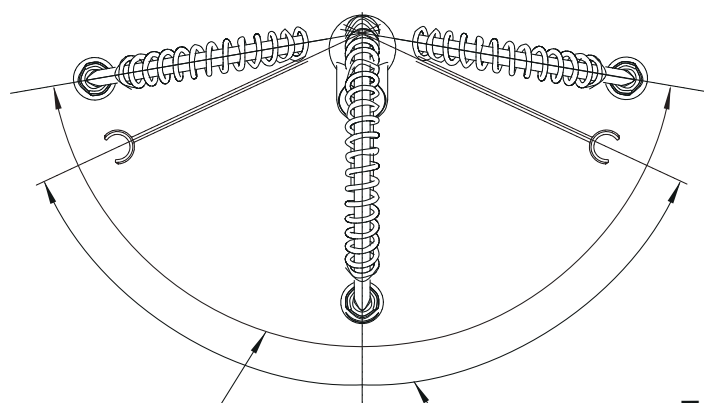


- 水勢調節及び製品の点検を容易にするために、
別途止水栓をご用意ください。

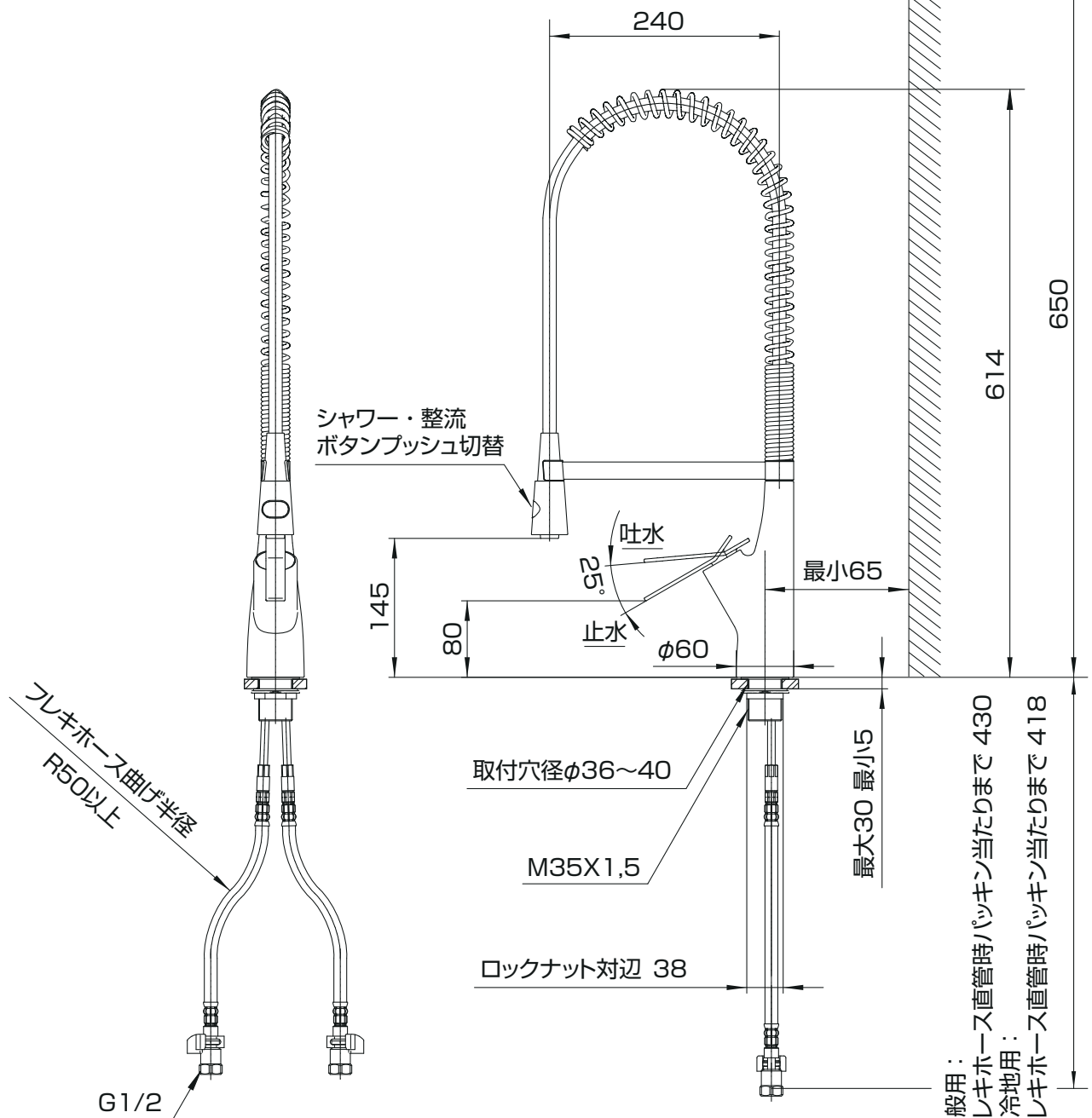
凍結のおそれがある場合にレバー
を中央位置で上げて水栓内部の水
を抜きます。参照：P16

本製品について 寸法図

●仕様により、寸法が異なる場合があります。



この面より低い位置に棚や
物があると取付けられません。



一般用：
フレキホース直管時パッキン当たりまで 430
寒冷地用：
フレキホース直管時パッキン当たりまで 418

施工について 施工に関する安全上のご注意

- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果（傷害・物損）に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 施工完了後、試験運転を行い異常がない事を確認すると共に、工事店様は説明書に沿ってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
- 施工は、水道法、その他の関係する法規などに従って行ってください。

用語および記号の説明

注意 …………… 「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害が発生する危険な状態が生じる事が想定されます。」



…………… 「注意しなさい！」（上記の「注意」と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項を守ってください。）



…………… 「してはいけません！」（一般的な禁止記号です。）



…………… 「分解してはいけません！」



…………… 「指示通りにしなさい！」（一般的な行動指示記号です。）

注意



修理技術者以外の方は、水栓本体内部を分解しないでください。
故障や水漏れの原因になります。



製品に強い力や衝撃を与えないでください。
故障や水漏れの原因になります。



湯水を逆に配管しないでください。
正常に作動しないため、やけどをする事があります。



給湯温度は85℃より高温で使用しないでください。
85℃より高温でご使用になると、器具の寿命が短くなり、水栓が破損し、水漏れのため家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



同梱の部品以外は使用しないでください。
故障や水漏れの原因になります。



ストレーナの掃除をする際は、必ず止水栓を閉めてから行ってください。
湯水が噴き出して、やけどや家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



(寒冷地用の場合)
凍結が予想される場所でご使用になる場合は「寒冷地用の水抜方法」を参照の上、凍結予防を確実に実施してください。
部品が破損し、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
参照：P16

施工について 適切な使用条件

〔水圧について〕

給水・給湯圧力	最低必要水圧(流動時)	最高使用水圧(静止時)
	0.05MPa 0.2 MPa ※	0.75MPa

※K8731JV-13-LF ディスパーザー使用時

- 給水・給湯圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁などで0.2～0.3MPa程度に減圧してください。
- 給水圧力は給湯圧力より必ず高くするか、同圧になるようにしてください。
- 給湯圧力は必ず0.05MPa以上にしてください。

〔給湯機について〕

使用最高温度	85℃以下
--------	-------

- 給湯機からの給湯管は抵抗を少なくするために最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。
- 誤操作などによるやけど防止のため、42～60℃給湯をおすすめします。
- 給湯に蒸気を使用しないでください。
- シャワーを使う際には、条件に適したガス瞬間式給湯機の号数（能力）が必要です。
四季を通じて快適なシャワーを得るために、給湯能力12号以上をおすすめします。
- 本製品は、給湯が止まった状態でレバーを湯側で上げていると少量の水が出ますが、これは器具の破損防止のためであり、異常ではありません。

〔水質・用途について〕

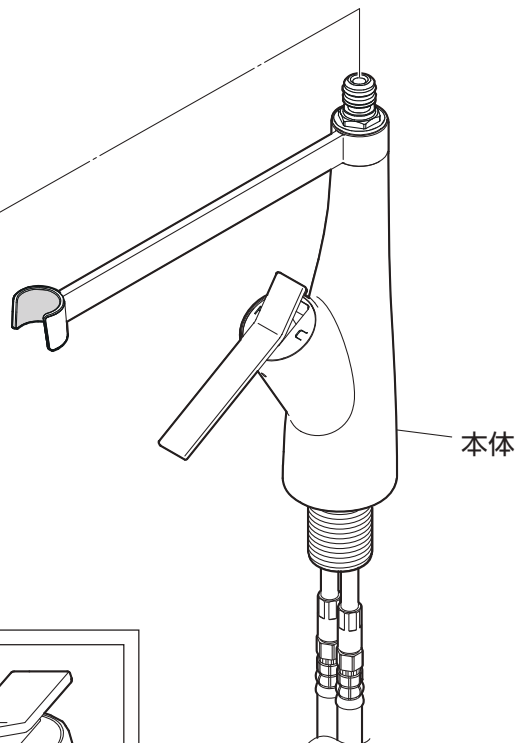
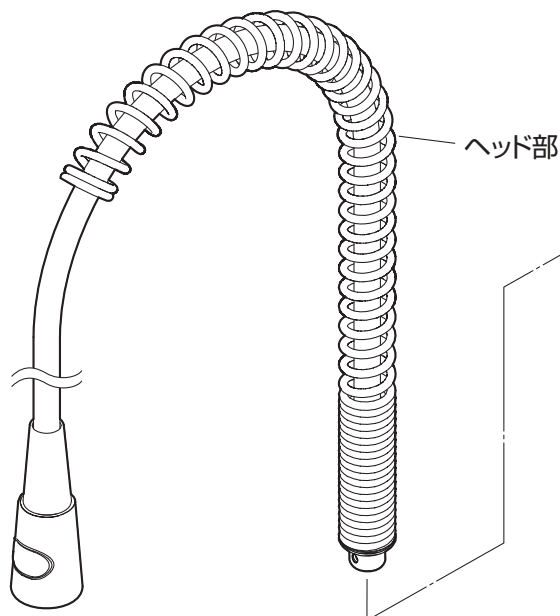
使用可能水質	水道水及び飲用可能な井戸水
用途	一般住宅用

施工について 施工前のご注意

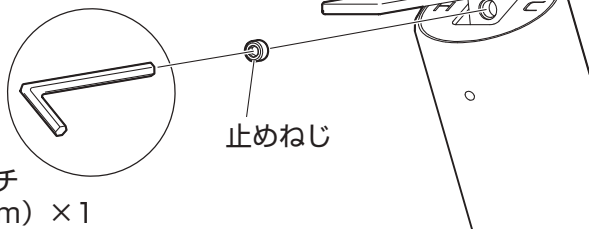
- 給水は、上水道に接続してください。
- 取付後の保守点検のために必ず止水栓（別売）と点検口を設けてください。
- 止水栓は、ストレーナ付をおすすめします。
- 開梱、施工の際は製品に傷をつけないようご注意ください。
- 配管内のシールテープくずやゴミをきれいに取除き、必ず通水して配管内のゴミを完全に洗い流してください。

施工について 梱包明細

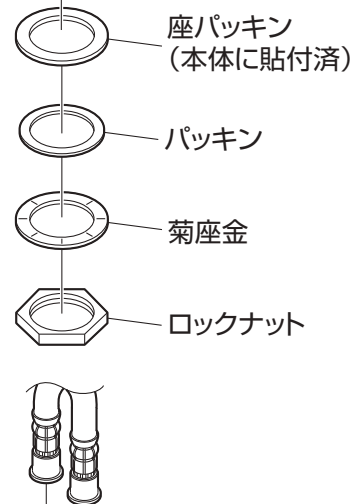
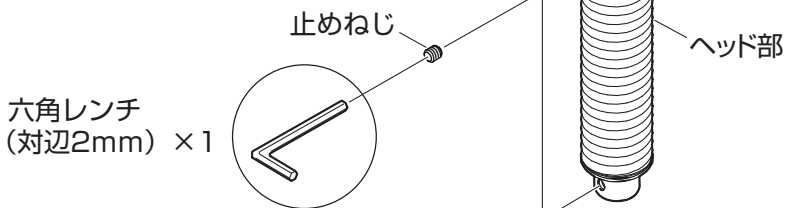
●本書（施工・取扱説明書「保証書付」）×1 本体 ×1



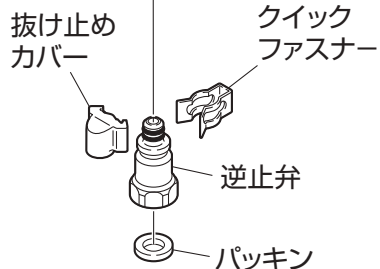
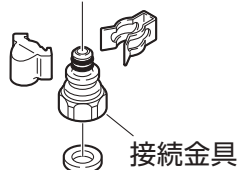
レバーの止めねじ用工具です。
なくさないように保管してください。



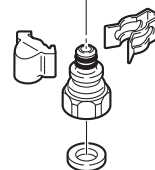
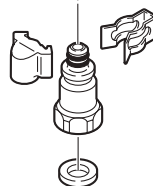
ヘッド部の止めねじ用工具です。
なくさないように保管してください。



■ 寒冷地用の場合



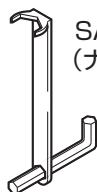
■ 寒冷地用の場合



●通水検査をしていますので水が残っている場合がありますが、製品には問題ありません。

主な工具類

- ナット締付工具：
水栓取付足のロックナットを回す時に必要です。



SANEI品番：PR357
(ナット締付工具)

※古い水栓を取りはずす際はロックナット対辺を確認してください。
上記寸法と異なる場合があります。

- スパナ・モンキーレンチなど：
水栓のナットが回せる工具。



- 使い古しのハブラシなど：
配管掃除ができるもの。



- 手袋：

ケガ防止のために着用してください。



- タオルなど：

ケガ防止や水栓保護のために使用します。



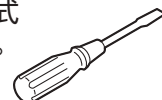
- ぞうきんなど：

配管中の残り水を拭くのに使用します。



- マイナスドライバー：

定流量弁をはずす時に必要です。(参照：P10)
止水栓がドライバー式の場合にも必要です。(参照：P6)

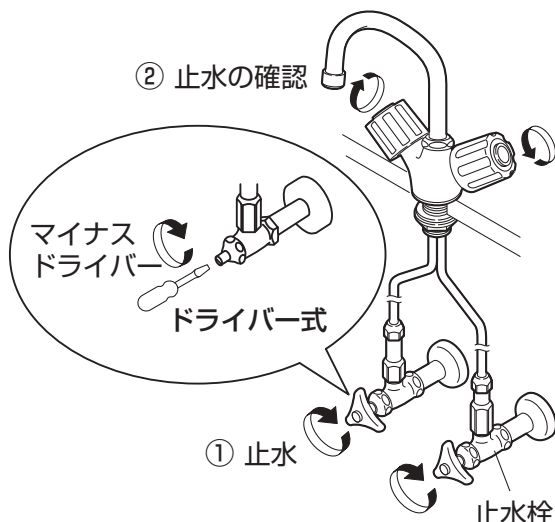


A 古い水栓の取りはずし

※新設の場合は **B** に進んでください。

1 湯・水の止水栓を閉めます。

カウンター下の止水栓を右に回して止水します。
止水した後、水栓のハンドルを開いて止水の確認をします。



※止水栓がない場合は、元栓を閉めてください。参照：P20

2 ナットを順番にゆるめて、古い水栓をはずします。



注意

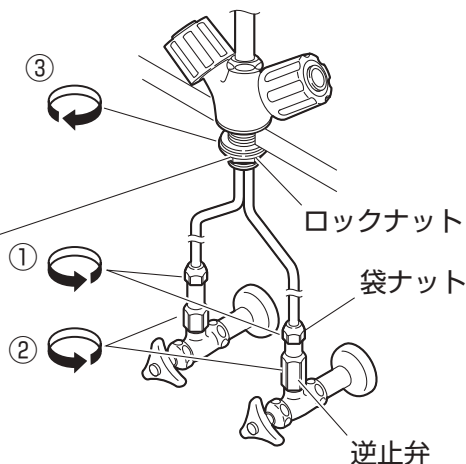
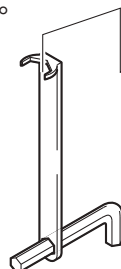
- ねじで手を切る場合があります。ご注意ください。
- 湯側の残り湯にご注意ください。

アドバイス

残り水を受けるためぞうきんを用意してください。

使用する工具の例

※古い水栓を取りはずす際はロックナット対辺を確認してください。



B 新しい水栓の取付け

3 配管内の掃除をします。

注 意



配管内のシールテープくずやゴミをきれいに取除き、

必ず通水して配管内のゴミを完全に洗い流してください。

(止水栓の開閉は手順1を参照してください。)

水栓金具内にゴミなどが混入すると止水不良や水栓の故障の原因となり、

この場合には有償修理となります。

4 新しい水栓を取付けます。



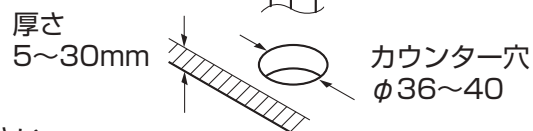
注意
取付時にレバーやステーなど可動部分を持たないでください。
破損のおそれがあります。

(1) カウンター穴の寸法の確認し、本体を入れてください。



注意
カウンターに厚みのない場合や、
取付面が弱い場合は補強材など
を設けてください。

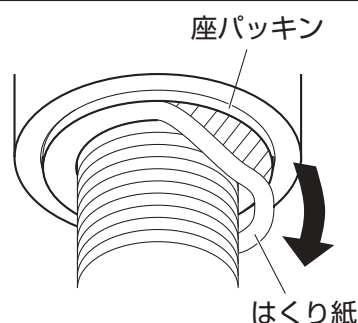
※本体を入れる前に、本体
からロックナット・菊座
金・パッキンをはずして
ください。



(2) 本体が正面を向くように締付工具で固定してください。



- 座パッキン裏面のはくり紙をはがし、
本体をカウンターに押しつけて固定
してください。
- カウンター穴中央に施工してくだ
さい。
座パッキンが穴からずれると漏水の
原因になります。
- 水栓本体に浮きがないよう注意して
ください。



座パッキン
(本体に貼付済)

パッキン

菊座金

ロックナット

締付けトルク
の目安15N・m

給湯
ホース

給水
ホース



ロックナット
対辺38mm

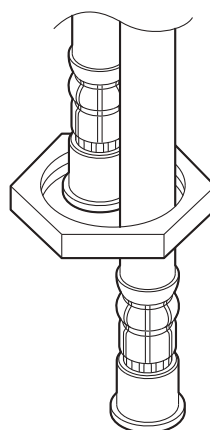
ナット締付工具
SANEI品番：PR357
(ナット締付工具)



- 取付時にレバーなど可動部分
を持たないでください。
破損のおそれがあります。
- 緩みがないように確実に締めて
ください。
ナットが確実に締付けられてい
ないと、本体が傾いたり水が漏
れることがあります。
- パッキンが入っていることを確
認してください。
パッキンが入っていないと水漏
れのおそれがあります。

アドバイス

ロックナットを給水・給湯ホースに
入れる際は、ホースをずらして入れ
てください。





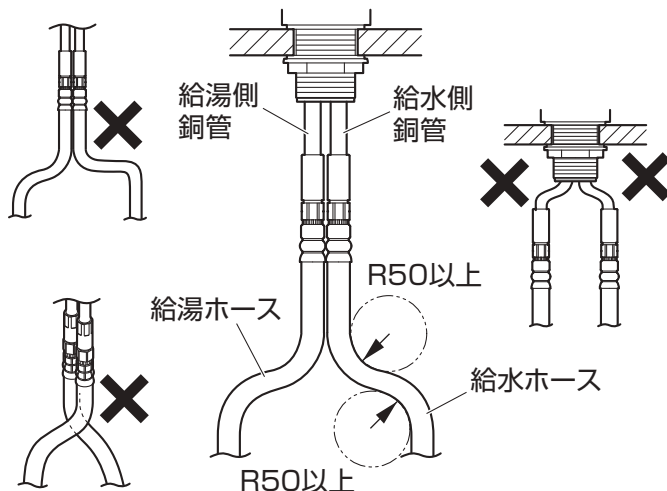
注意

ホース施工上の注意点

※下記注意事項は必ず守ってください。

ホースが折れ、折れた部分で早期破壊を生じる可能性があります。銅管・ホースが折れた状態で使用にならないでください。

- 銅管は曲げないでください。
- ホースの最小曲げ半径は50mmです。ホースを極端に屈曲しないでください。
- ホースを必要以上の力で曲げたり、無理に引っ張ったりしないでください。
- ホース同士の不要な接触は避けてください。摩耗による外傷でホースの性能劣化の可能性があります。



5 逆止弁（寒冷地用は接続金具）を取付けます。

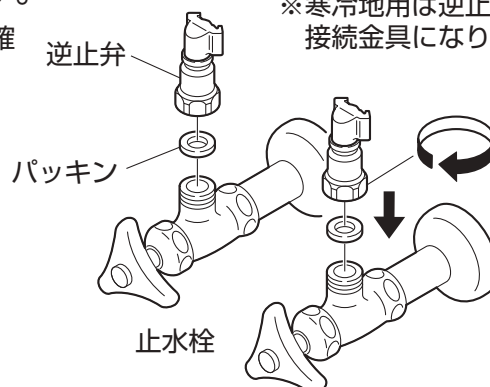
カウンター表面から給水・給湯ホース先端までの長さの確保を行ってから逆止弁を止水栓などに固定してください。

※寒冷地用は逆止弁が接続金具になります。



注意

- ゆるみがないように確実に締めてください。逆止弁が確実に締付けられていないと、水が漏れることがあります。
- パッキンが入っていることを確認してください。パッキンが入っていないと水漏れのおそれがあります。



6 逆止弁（寒冷地用は接続金具）と給水・給湯ホースを接続します。

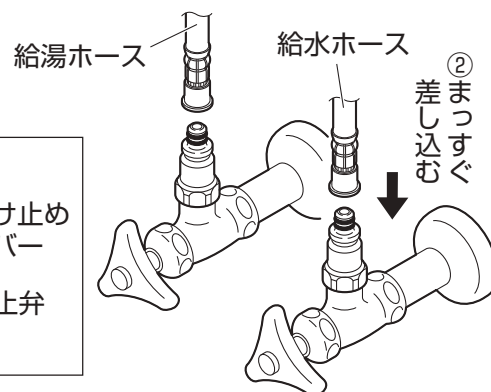
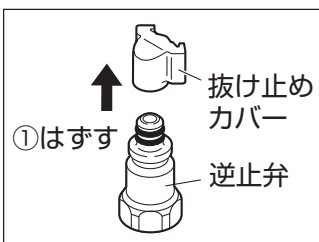
※寒冷地用は逆止弁が接続金具になります。

- (1) 逆止弁の抜け止めカバーをはずし、給水・給湯ホースと逆止弁のツバ部がすき間なく合うまで差し込んでください。

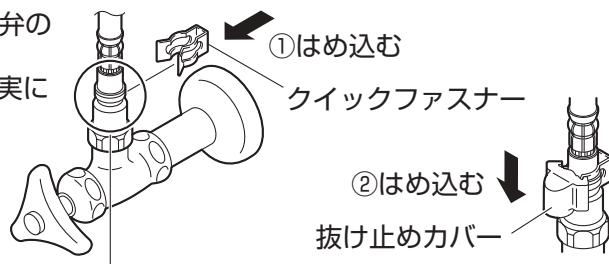


注意

- 逆止弁のオリングの傷、ゴミかみに注意してください。
- 抜け止めカバーは、クイックファスナー接続の際に必要なので、なくさないようにしてください。

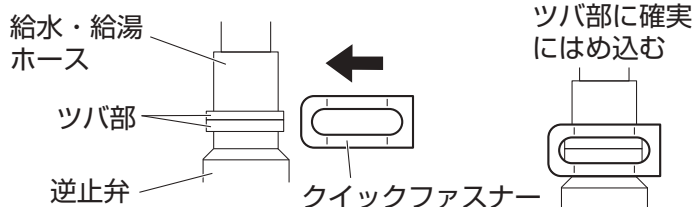


- (2) クイックファスナーを給水・給湯ホースと逆止弁のツバ部に確実ににはめ込んでください。次に抜け止めカバーをクイックファスナーに確実ににはめ込んでください。



注意

- クイックファスナーは、ケガのないよう取り扱いに注意してください。
- クイックファスナーは、広げないでください。
- 給水・給湯ホースを上向きに引っ張って抜けないことを確認してください。



7 ヘッド部を本体に接続します。

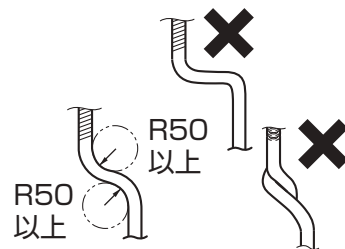
⚠ 注意

シャワーホース施工上の注意点

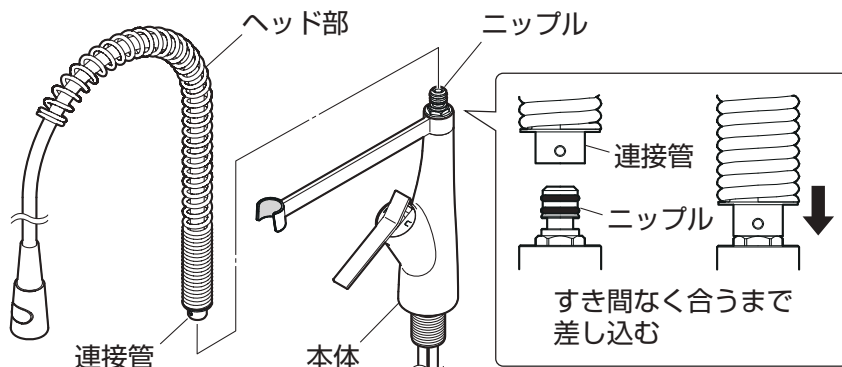
※下記注意事項は必ず守ってください。

ホースが折れ、折れた部分で早期破壊を生じる可能性があります。

- シャワーホースを必要以上の力で曲げたり、無理に引っ張ったりしないでください。
- シャワーホースの最小曲げ半径は50mmです。シャワーホースを極端に屈曲したりねじったりしないでください。

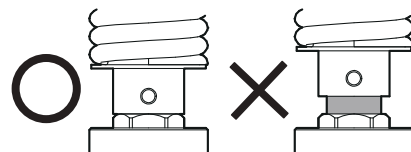


(1) ヘッド部の接続管を本体のニップルにすき間なく合うまで差し込んでください。



⚠ 注意

- ニップルのオーリングの傷、ゴミかみに注意してください。
- 接続管はニップルに確実に差し込んでください。

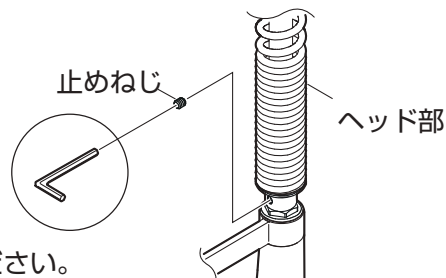


(2) 止めねじを六角レンチで当たりまで締め込んでください。

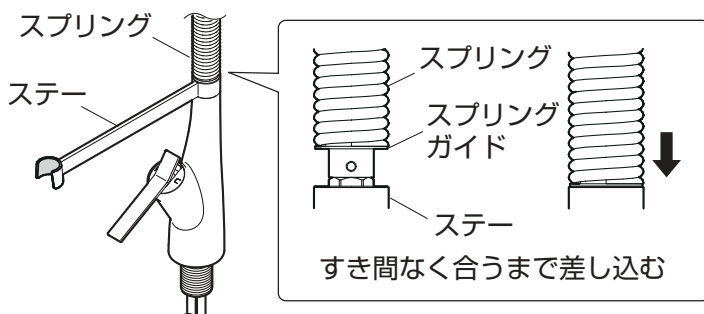
⚠ 注意

止めねじは、必ず当たりまで締め込んでください。

六角レンチ
(対辺2mm) × 1



(3) スプリングをステーにすき間なく合うまで差し込んでください。



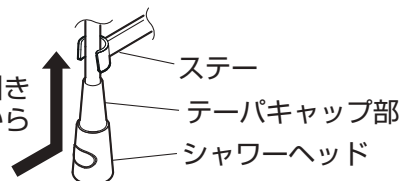
⚠ 注意

スプリングはステーに確実に差し込んでください。



(4) シャワーヘッドのテーパーキャップ部を、ステーの掛具にはめ合わせてください。

シャワーヘッドを引き下げた状態で、下からはめ合わせる。



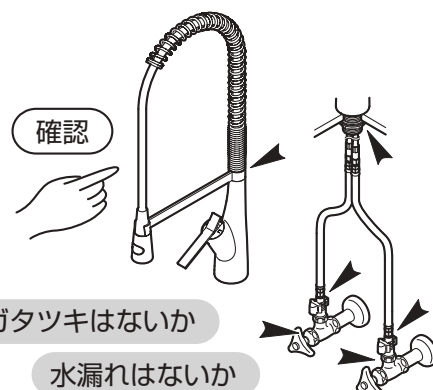
8 止水栓を開いてガタツキ・水漏れチェック・流量の確認をします。

【ガタツキ・水漏れチェック】

接続後、各部にガタツキ・水漏れがないか必ず確認してください。
水漏れがある場合は、もう一度はじめてやり直してください。

【流量の確認】

定流量弁が内蔵されているため流量の調節は必要ありませんが、取付現場の圧力などの条件により十分な流量が得られない場合は、定流量弁を取りはずして止水栓で流量を調節してください。
参照：P10 ※K8731JV-13-LFの場合、定流量弁はありません。

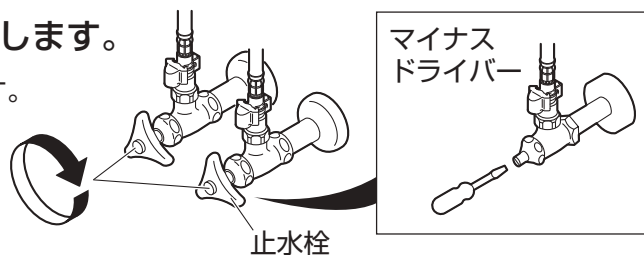


※K8731JV-13-LFの場合、手順（7）のみ行ってください。

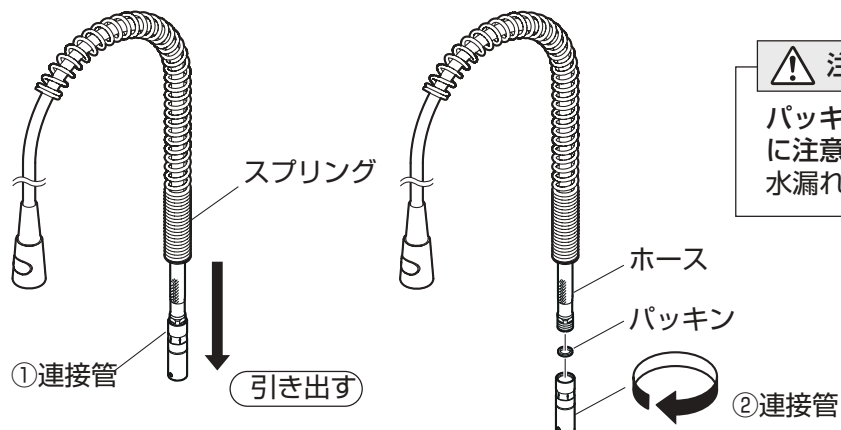
9 定流量弁を取りはずし、流量の調節をします。

（1）止水栓のハンドルを右にまわし、止水します。

（2）手順7【ヘッド部を本体に接続します。】を逆の手順で行い、ヘッド部を本体から取りはずしてください。
参照：P9 手順7

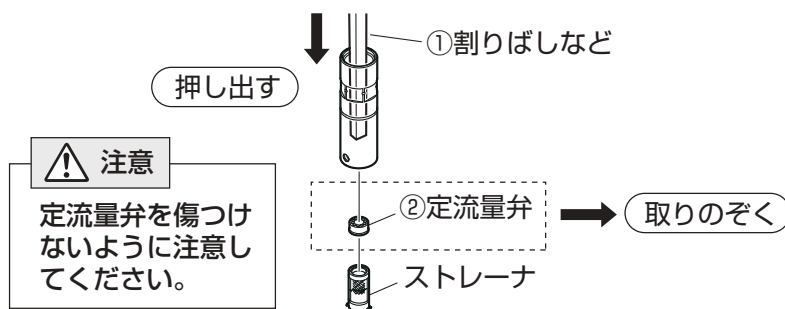


（3）スプリングから接続管を引き出し、ホースと接続管を取りはずしてください。



注意
パッキンはなくさないように注意してください。
水漏れの原因になります。

（4）割りばしなどを用いて接続管から定流量弁とストレーナを押し出し、定流量弁を取りのぞいてください。



注意
定流量弁を傷つけないように注意してください。

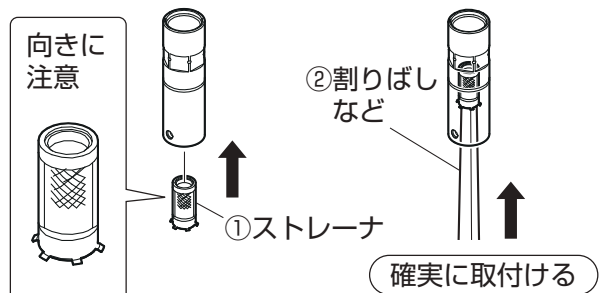


注意
●定流量弁は、なくさないように保管してください。
●K8731JV-13-LFの場合、流量が約11L/minを超えると、切替ボタンが押せない、あるいは押せたとしても切替できません。

（5）割りばしなどを用いてストレーナを確実に取付けてから、手順（3）を逆の手順で行い、ホースと接続管を取付けてください。



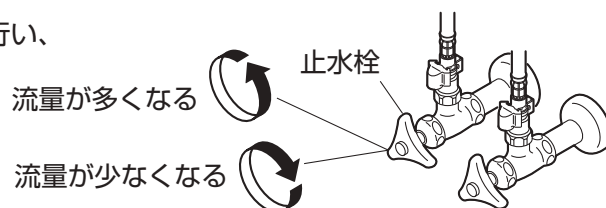
注意
●ストレーナの向きに注意してください。
●ストレーナは確実に取付けてください。
●パッキンが入っていることを確認してください。
パッキンが入っていないと水漏れの原因になります。
●パッキンの傷、ゴミかみに注意してください。
水漏れの原因になります。



③手順（3）を逆の手順で行い、ホースと接続管を取付ける。

（6）手順7【ヘッド部を本体に接続します。】を行い、ヘッド部を本体に接続してください。
参照：P9 手順7

（7）止水栓で流量を調節してください。



10 再度水漏れチェックをします。 参照：P9 手順8

ご使用について

ご使用に関する安全上のご注意

- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果（傷害・物損）に結び付く可能性があります。
いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

用語および記号の説明

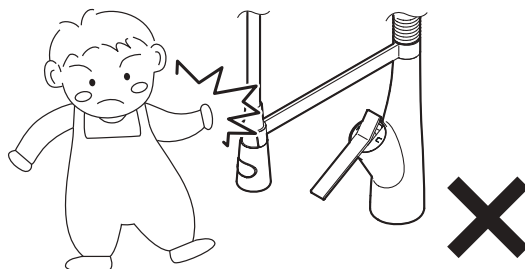
- 警告** 「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じる事が想定されます。」
- 注意** 「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害が発生する危険な状態が生じる事が想定されます。」
-  「注意しなさい！」（上記の「注意」と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項を守ってください。）
-  「してはいけません！」（一般的な禁止記号です。）
-  「分解してはいけません！」
-  「指示通りにしなさい！」（一般的な行動指示記号です。）

警告



小さいお子様だけのご使用は、避けてください。

やけど・けがをするおそれがあります。



注意



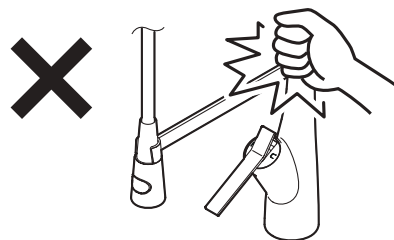
朝一番の使い始めの水は飲まずに別の用途にお使いください。

しばらく使われないと、シャワーホース内の水は消毒用の塩素がなくなってしまい、におうことがあります。



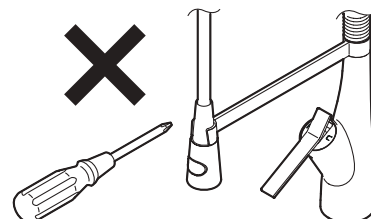
製品に強い力や衝撃を与えないでください。

故障や漏水の原因になります。



分解は、保守・点検の決められた項目以外はしないでください。

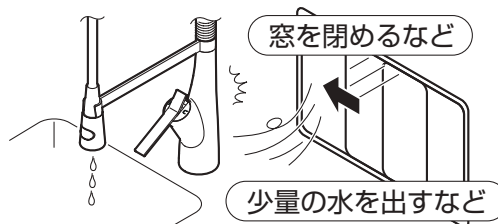
器具が破損し、やけど・けがをしたり、水漏れで家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



凍結が予想される場所でご使用になる場合は、凍結予防を確実に実施してください。

凍結破損で水漏れし、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

参照：P16



⚠️ 注意

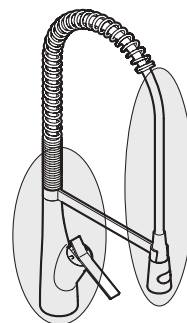
- 水栓の左側には直接肌を触れないでください。



給湯側のため高温になっており、やけどをするおそれがあります。

- 高温の湯をお使いのときは、本体やシャワーヘッドに直接肌を触れないでください。

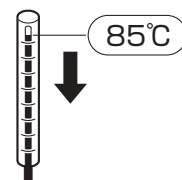
本体やシャワーヘッドは高温になっているのでやけどをするおそれがあります。



(給湯器の設定温度について)

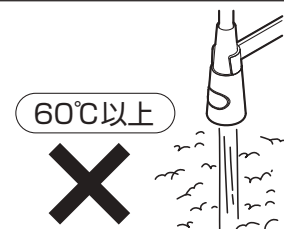
給湯温度は最高85℃まででお使いください。

85℃以上でご使用になると器具の寿命が短くなります。
なお、誤操作などによるやけど防止のため、42～60℃給湯をおすすめします。



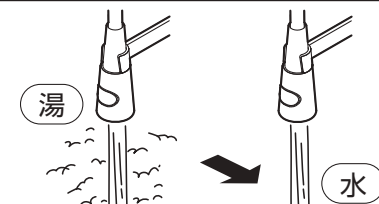
高温の湯（60℃以上）を出さないでください。

給湯温度が60℃以上の場合、吐水温度が60℃以下になるように調節してください。
シャワーヘッド・シャワーホースが破損して、やけどをするおそれがあります。
安全のため、適温でのご使用をおすすめします。



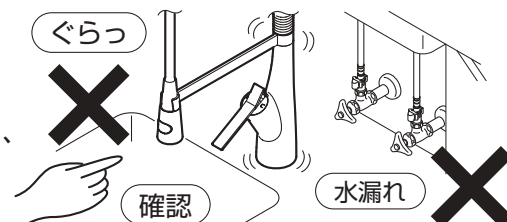
湯をお使いの後は、しばらく水を流してから止水してください。

次に使用する際、水栓内に残っている高温の湯が出て、やけどをするおそれがあります。



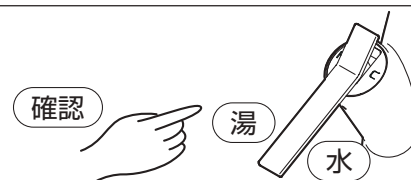
定期的に、配管周りの水漏れや、ガタツキがないか確認してください。

劣化・摩耗などで部品が破損し、やけど・けがをしたり、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



レバーの温度位置を確かめて吐水してください。

高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。



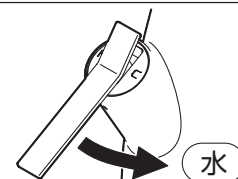
レバーは、ゆっくり動かしてください。

レバーを急に閉めると、配管に衝撃が加わり、水漏れで家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



高温の湯をお使いの後は必ずレバーを水側に戻してください。

次に使用する際、いきなり高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。



シャワーをお使いになる前に、必ず手で適温であることを確かめてください。

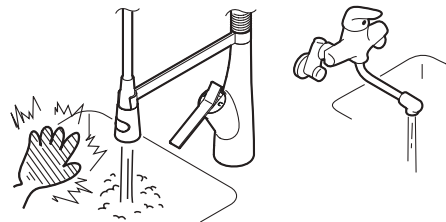
高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。



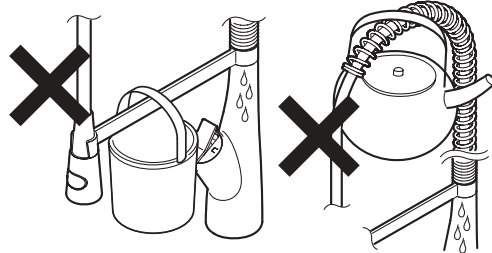
⚠️ 注意



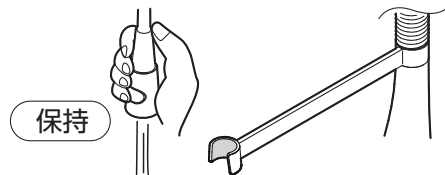
他所の水栓の使用などにより水圧変動が起こり、湯の使用中に湯温が急上昇することがありますのでご注意ください。
やけどのおそれがあります。



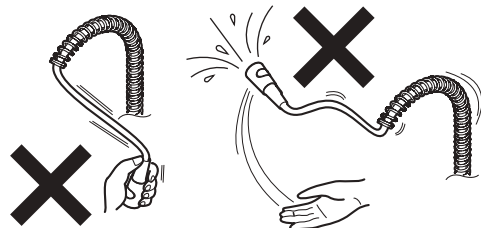
ステーやスプリングに重いものを下げたり、力をかけて回したりしないでください。
変形のおそれがあります。
また、摩耗、変形などでパッキンの寿命が短くなり、吐水時に接合部から微少の水がにじみ出るおそれがあります。



シャワーヘッドをステーからはずした状態では、必ずシャワーヘッドを手で保持しながら吐水してください。
機器が破損したり、やけど・けがをしたり、水が飛び散って家財を濡らす財産損害発生のおそれがあります。



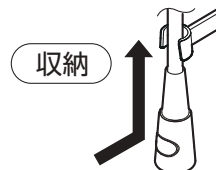
シャワーヘッドを強く引っ張ったり、急に離さないでください。
機器が破損したり、やけど・けがをしたり、水が飛び散って家財を濡らす財産損害発生のおそれがあります。



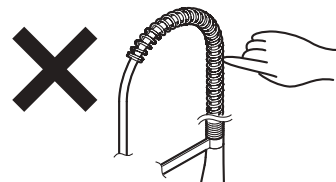
シャワーヘッドの操作はゆっくりと行ってください。
機器が破損したり、やけど・けがをしたり、水が飛び散って家財を濡らす財産損害発生のおそれがあります。



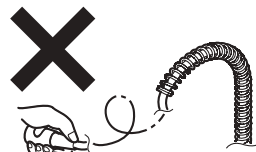
シャワーヘッド使用後は、必ずステーに収納してください。
機器が破損したり、やけど・けがをしたり、水が飛び散って家財を濡らす財産損害発生のおそれがあります。



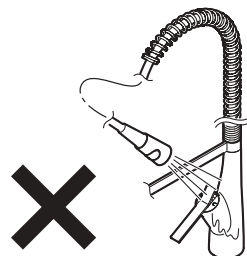
スプリング部分に指をはさまないように注意してください。
けがのおそれがあります。



シャワーホースをねじったり、無理に曲げないでください。
シャワーホースが破損し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



レバー根元に水をかけないでください。
水が浸入して漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

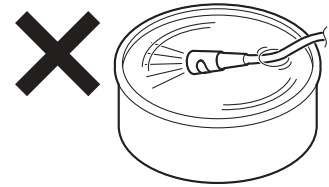


⚠️ 注意



シャワーヘッドをお使いになるときは、水をはった洗いおけなどにシャワーヘッドやシャワーホースを浸けないでください。

汚水が器具に逆流したり、器具が破損したりするおそれがあります。



(樹脂メッキ付部品の場合)

樹脂メッキ部品には、下記のことを行わないでください。

●鋭利な物を当てる ●衝撃を与える ●落とす

メッキの表面が割れ、ケガをするおそれがあります。万が一メッキの表面が割れた場合は、早めに新しい部品に交換してください。

【樹脂メッキ部品の例】

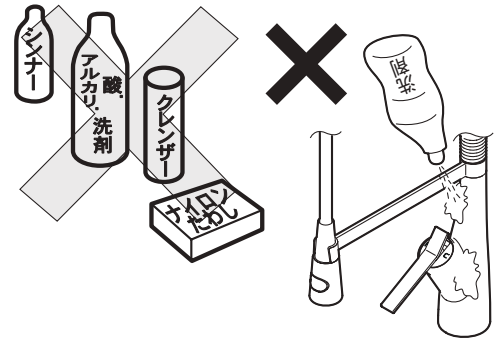
- ・シャワーヘッド
- ・ハンドル、レバー
- ・シャワー受 など



本体をお手入れする際は、次のものは絶対に使用しないでください。

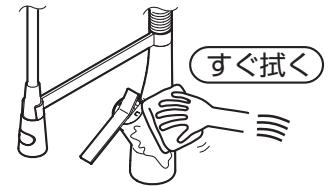
使用してはいけないもの

- 酸性・アルカリ性および塩素系の洗剤類
※特に酸性洗剤はメッキを侵します。
 - ベンジン・シンナー・ラッカー・アルコールなどの溶剤や油類
 - クレンザーなどの粒子の粗い洗剤
 - ナイロンたわし・メラミフォームなど
- 本体の割れや変色変質の原因となります。



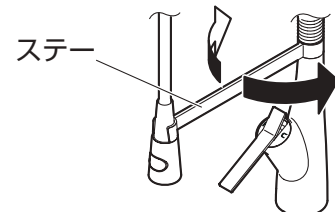
洗剤・薬品が本体に付着した場合は、すぐにきれいに拭き取ってください。

本体の割れや変色変質の原因となります。



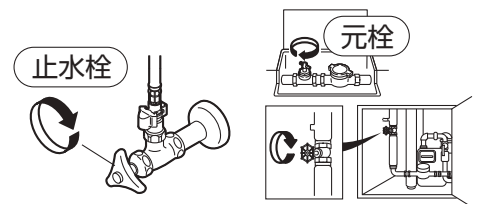
日頃から、ときどきステアを回してください。

ステアを長期間回さずに使用すると水あかなどが付着し、無理に回そうとすると、破損の原因になります。



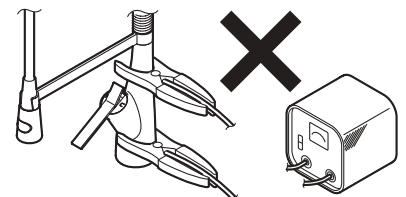
長期間使用しない時は、止水栓または配管中の元栓を閉めてください。

水漏れなどの事故の原因になります。



解氷機やアースを水栓に通電しないでください。

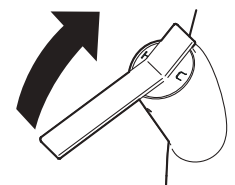
水栓が発熱で破損し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



(寒冷地用の場合)

凍結が予想される際は、配管と水栓の水抜き操作を同時に行ってください。

凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。参照：P16



⚠️ 注意



ディスポーザーをご使用の際は、「**シャワー吐水**」の状態にし、レバーを**右側いっぱい**にして、**全開(動水圧0.2MPa以上)**でご使用ください。

上記の条件で使用しないと、流量不足により粉砕物が配管に詰まり、家財などを破損するおそれがあります。

ご使用について

吐水・止水・温度調節

レバーで吐水・止水・温度調節ができます。

吐水・止水

レバーを上げる

→ 吐水

レバーを下げる

→ 止水



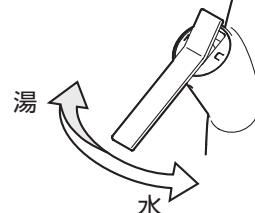
温度調節

レバーを右に回す

→ 水

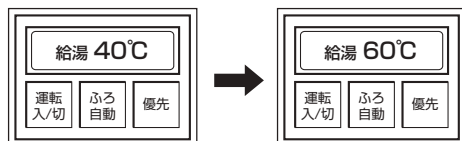
レバーを左に回す

→ 温度が上がる



高温の湯が出ないときは？

レバーを湯側に回しても高温の湯が出ないときは、給湯機（給湯リモコンなど）の給湯温度を42～60℃に設定した後、水栓側のレバーを湯側に回してください。



⚠️ 注意

高温の湯を使用した後は、給湯リモコンとレバーで適温に戻してしばらく水を流してください。

(注) 水温の高い夏場で吐水量を少なくして使うと瞬間式給湯機の場合、着火しないことがあります。この場合には、水栓側のレバーを全開に（吐水量を多く）するか、給湯機の温度設定を下げてください。

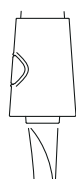


ご使用について

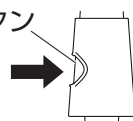
シャワーの使用方法

シャワーヘッドは、切替ボタンを押すごとに整流吐水・シャワー吐水に切替えます。

整流吐水



切替ボタン



押して離す

シャワー吐水



⚠️ 注意

止水後、シャワーヘッドから水滴がしばらく落ちる事がありますが、シャワーヘッド内の残留水です。異常ではありません。

いつもポタポタ出ているのはハンドルの閉め方がゆるいか水栓のバルブ開閉ユニットが故障しているかのどちらかです。

しかし、使用直後の一定時間だけの現象であれば閉め方、摩耗や故障ではありません。シャワーヘッド内の水はシャワー散水板の表面張力により滞留しています。振動などによる気圧の変化などにより表面張力が弱くなり、ポタポタと流れ出ることがあります。

※残留水を抜きたい場合は、シャワーヘッドをよく振ってください。

K8731JV-13-LFの場合、流量が約11L/minを超えると、切替ボタンが押せない、あるいは押せたとしても切替できません。



シャワーヘッドを引き下げると、ステーからはずすことができます。
はずしたシャワーヘッドは、上下左右に操作することができます。

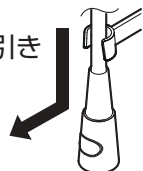
⚠ 注意

- シャワーヘッドをステーからはずした状態では、必ずシャワーヘッドを手で保持したままで吐水してください。
- シャワーヘッドを強く引っ張ったり、急に離さないでください。
- シャワーヘッドの操作はゆっくりと行ってください。

機器が破損したり、やけど・けがをしたり、水が飛び散って家財を濡らす財産損害発生のおそれがあります。

【はずしかた】

シャワーヘッドを引き下げてはずす。



【もどしかた】

シャワーヘッドを引き下げた状態で、下からもどす。



シャワーヘッド

ステー

130° 回転

スプリング

360° 回転

シャワーヘッド

360° 回転

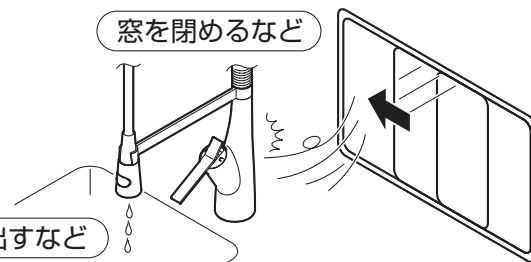
凍結予防について

一般用の場合

一般用でも凍結のおそれがある場合は、次の処置によって凍結を予防できる場合があります。

- 水栓より少量の水を出してください。
(目安として1分間に牛乳ビン1本程度)
 - 配管部などに保温材を巻いてください。
 - 屋内の窓を閉めるなどして水栓周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。
- ※凍結による破損は保証期間内でも有料修理となります。

窓を閉めるなど



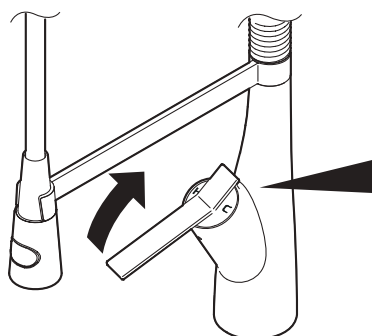
少量の水を出すなど

凍結予防について

寒冷地用の場合（水抜方法）

寒冷地用は寒冷地において配管中の水を抜く設備（水抜栓）とあわせて使用する製品です。
凍結のおそれがある場合は、下記の方法で水抜きをしてください。

- 1 元栓を閉め、配管の水抜栓を開けます。
- 2 レバーを中央位置（湯側・水側の中間）で上げます。

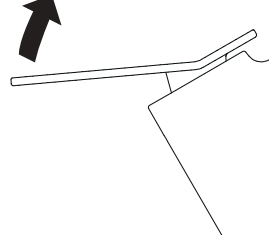


再使用時

2 レバー

中央位置で上げる

H 湯
C 水



レバーを下げて配管の水抜栓を閉め、元栓を開けます。

日頃のお手入れ

汚れの拭き取り

製品についた汚れを放置しておくと、汚れが落ちにくくなる場合があります。
快適にお使いいただくために、日頃のお手入れをおすすめします。

- 柔らかい布で水拭きして、よくしぼった布で汚れを拭き取ってください。
- 汚れが目立つときは、中性洗剤を柔らかい布にふくませて拭き取った後水拭きして、よくしぼった布で汚れを拭き取ってください。

⚠注意



次のものは使用しないでください。
変色や傷みのおそれがあります。

- 酸性・アルカリ性および塩素系の洗剤類
※特に酸性洗剤はメッキを侵します。
- ベンジン・シンナー・ラッカー・アルコールなどの溶剤や油類
- クレンザーなどの粒子の粗い洗剤
- ナイロンたわし・メラミンフォームなど



洗剤・薬品が本体に付着した場合は、
すぐにきれいに拭き取ってください。
本体の割れや変色変質の原因となります。



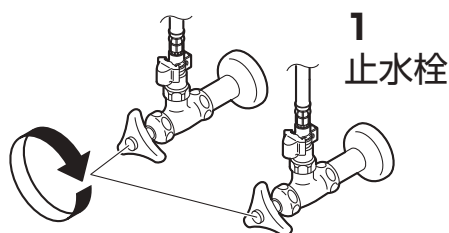
日頃のお手入れ

ストレーナの掃除

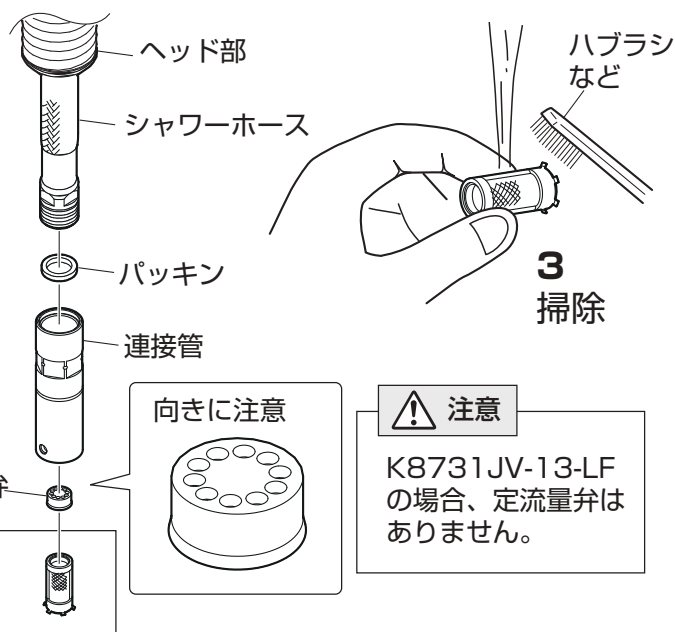
ストレーナの汚れを放置しておくと、十分な機能を発揮できないことがあります。
快適・衛生的にお使いいただくために、日頃のお手入れをおすすめします。

(近所で水道工事があったり、長期間使用し湯水の出が悪くなった場合にも、汚れの点検・お手入れをおすすめします。)

- 1 止水栓のハンドルを右に回し、止水します。
- 2 接続管からストレーナを取りはずします。
参照：P10 手順9 (2)～(4)
※ 定流量弁は取りのぞかないでください。
- 3 ハブラシなどで網部分を掃除します。



1 止水栓



3 掃除

向きに注意

⚠注意

K8731JV-13-LF
の場合、定流量弁は
ありません。

2 ストレーナ

掃除後

- 1 部品を取付けます。参照：P10 手順9 (5)
- 2 ヘッド部を本体に固定します。参照：P9 手順7

再使用时

ヘッド部が確実に閉まっているか確認してください。

⚠注意

定流量弁の向きに注意してくだ
さい。

日頃のお手入れ

吐水口の掃除

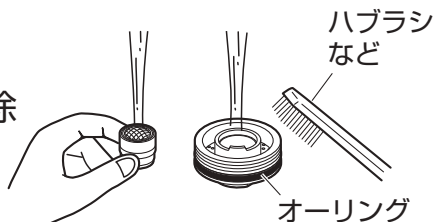
吐水口の汚れを放置しておくと、十分な機能を発揮できないことがあります。

快適・衛生的にお使いいただくために、日頃のお手入れをおすすめします。

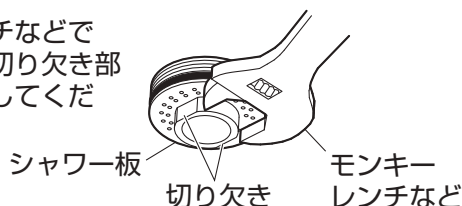
(近所で水道工事があったり、長期間使用し湯水の出が悪くなった場合にも、汚れの点検・お手入れをおすすめします。)

- 1 レバーを下げ、止水します。
- 2 シャワー板をはずします。
- 3 ハブラシなどで網部分・シャワー板を掃除します。

3
掃除



モンキーレンチなどで
シャワー板の切り欠き部
を挟んで、回してくだ
さい。



再使用时

シャワー板が確実に閉まっているか確認してください。

⚠ 注意

- パッキン・オーリングが入っていることを確認してください。パッキン・オーリングが入っていないと、水漏れ・切替不良の原因になります。
- パッキン・オーリングの傷、ゴミかみに注意してください。水漏れ・切替不良の原因になります。
- シャワーヘッドの切替部分の分解はしないでください。



定期的な点検

可動部分の点検

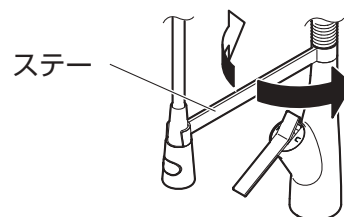
可動部分が固くて動きが悪い場合は、水あか固着や潤滑剤切れです。

放置すると故障の原因になりますので、「保証とアフターサービス」(P22)を参照し、修理をご依頼ください。

ステアの点検については下記を参照ください。

日頃から、ときどきステアを回してください。(月1回を目安)
ステアを長期間回さずに使用すると水あかなどが付着し、無理に回そうとすると、水漏れ・異音の発生の原因になります。

ステアが回らなくなった場合は、「保証とアフターサービス」(P22)を参照し、修理をご依頼ください。



定期的な点検

配管周りの水漏れ・器具のガタツキ

定期的に、配管周りの水漏れがないか確認してください。(年2回を目安)

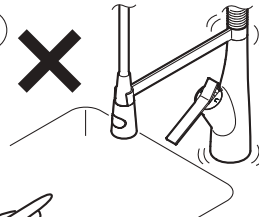
定期的に、器具のガタツキがないか確認してください。(年2回を目安)

劣化・摩耗などで部品が破損し、やけど・けがをしたり、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

漏水を確認した場合は、止水栓または配管中の元栓を閉めてください。

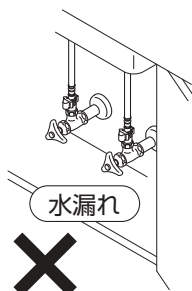
修理の依頼をされる場合は、「保証とアフターサービス」(P22)を参照してください。

ぐらっ



確認

水漏れ



定期的な点検

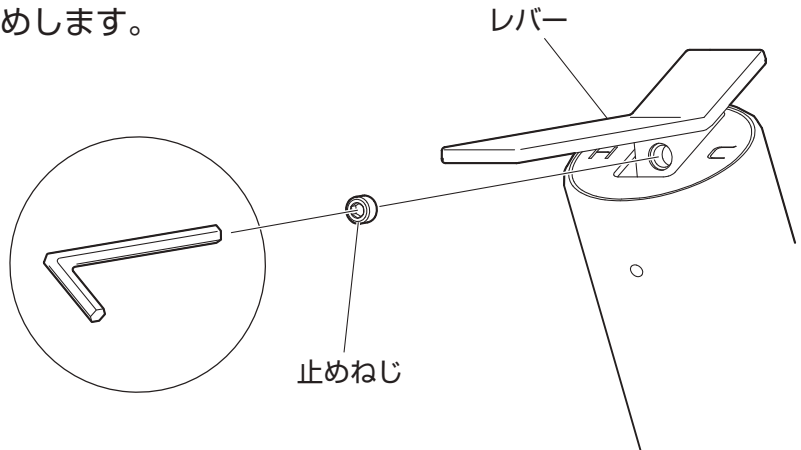
レバーのガタツキ

レバーががたつく場合、止めねじがゆるんでいないか、下記の操作を行い確認してください。

- 1 止水栓を右に回し、止水します。
- 2 止めねじを六角レンチで増し締めします。

六角レンチ（付属品）
（対辺3mm）×1

六角レンチは、なくさない
ように保管してください。



以上の処置をされても不具合がなくなる場合は、「保証とアフターサービス」
（P22）を参照し、修理をご依頼ください。

定期的な部品交換

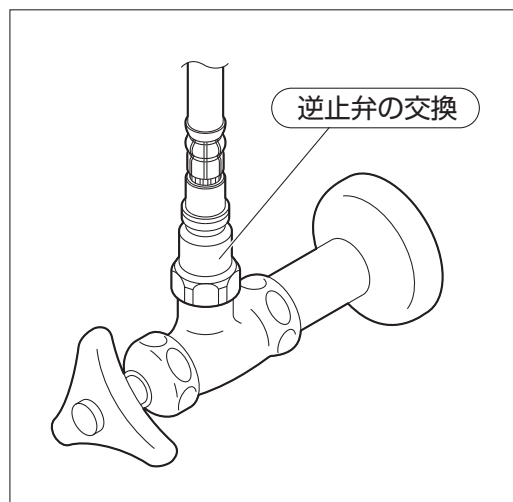
逆止弁・シャワーホースの交換時期

逆止弁の交換時期の目安：3～5年

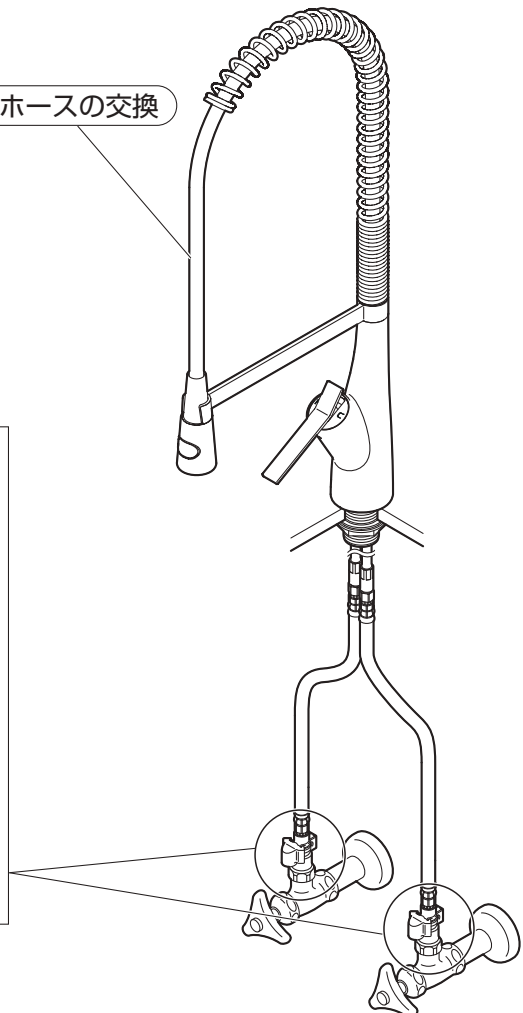
万が一、逆止弁が正常に機能しない場合、状況によっては水栓から一度吐水した水が逆流するおそれがあります。

シャワーホースの交換時期の目安：5年

シャワーホースの劣化により水漏れして、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



シャワーホースの交換



- ※寒冷地用の場合、逆止弁はありません。
- ※交換時期は、使用環境などにより異なります。
- ※逆止弁・シャワーホースの交換を依頼される場合は、「保証とアフターサービス」（P22）を参照してください。

こんなときは 故障？ その前に

修理をご依頼される前に、次の表に従って点検してください。

現象	点検項目	処置
流量が少ない	止水栓は開いていますか。	定流量弁をはずし、止水栓で流量を調節する。 参照：P10
	ゴミづまりはありませんか。	ストレーナ・吐水口の掃除をする。 参照：P17～18
高温しかでない	水側の止水栓は開いていますか。	止水栓で流量を調節する。
低温しかでない	給湯機から湯がきていますか。	給湯機の設定温度・作動を確認する。 参照：P15
	湯側の止水栓は開いていますか。	止水栓で流量を調節する。
温度調節がうまくできない	湯側・水側の止水栓は開いていますか。	止水栓で流量を調節する。
	給湯機から湯がきていますか。	給湯機の設定温度・作動を確認する。 参照：P15
	ゴミづまりはありませんか。	ストレーナ・吐水口の掃除をする。 参照：P17～18
水はねが気になる	—————	止水栓かレバーで水量を調節する。 参照：P15
製品正面レバー下の穴から水が漏れる	一定量の水が出た後に止まっていますか。	製品にかかった水を排出しており問題ありません。
	水が出続けていますか。	下記「各接合部及びレバー上部から水が漏れる」参照

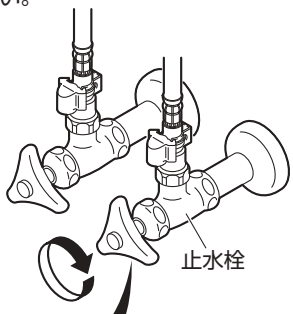
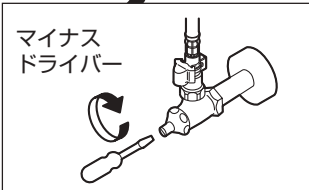
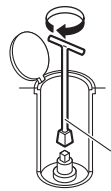
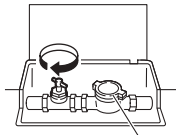
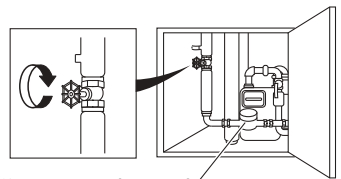
以上の点検を実施されても、不具合がなくなる場合はお手数ですがお買上げの販売店（工事店）に修理をご依頼ください。

●修理される方は次の表に従って点検してください。

現象	点検項目
各接合部及びレバー上部から水が漏れる	老朽化や使用環境により部品の劣化やゴミかみのおそれがあります。 各接合部からの水漏れの場合は、水漏れ箇所の部品を交換してください。 レバー上部からの水漏れの場合は、シングルカートリッジを交換してください。 参照：P21
止水しても吐水口から水が漏れる	老朽化や使用環境により部品の劣化やゴミかみのおそれがあります。 シングルカートリッジを交換してください。 参照：P21
シャワーホースから水が漏れる	老朽化や使用環境により部品の劣化のおそれがあります。 シャワーホースを交換してください。 参照：P19・P21

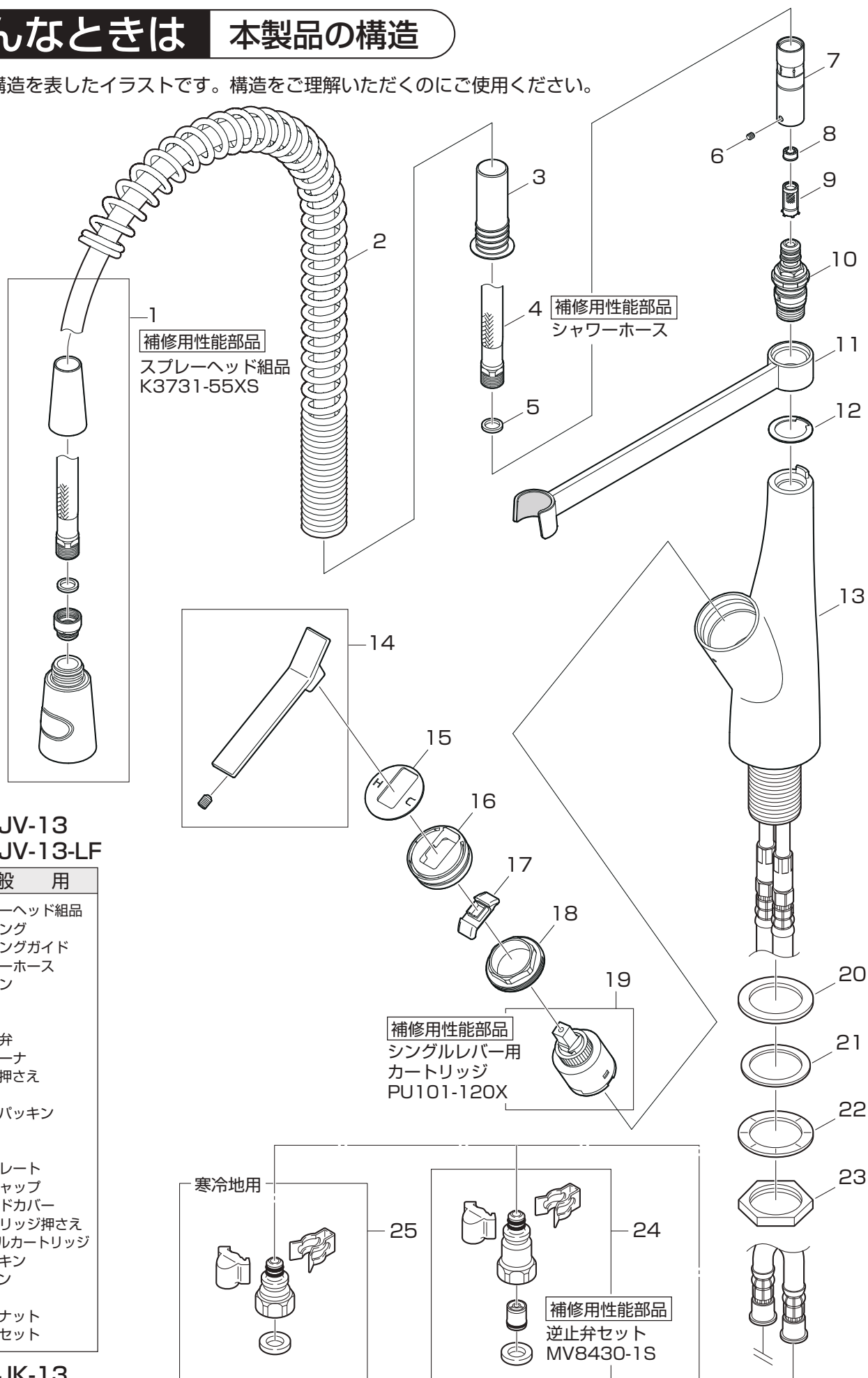
漏水した場合の処置

漏水した場合は、止水栓または配管中の元栓を閉めてください。

止水栓の閉め方	元栓の閉め方
カウンター下に止水栓がある場合、ハンドルを回して水を止めてください。  止水栓  マイナスドライバー	元栓ボックス（メーターボックス）のふたを開け、元栓を右に回して閉めます。 ※元栓を閉める前に給湯機や洗濯機などの使用は止めてください。 ※閉栓後は近くの水栓などで給水が止まっていることを確認してください。 ※一部の地域では左回しの場合があります。 ※元栓がどこにあるかわからない場合は、水道局にお問い合わせください。 ■ 戸建て住宅などの元栓ボックス： 主に玄関やガレージ付近の地面にあります。 古い戸建て住宅の場合は道路に円形のキー式ボックスがあったりします。 ■ マンションなどの中高層住宅の元栓ボックス： 主に玄関を出た階段の踊り場に鉄の扉があり、電気やガスのメーターと共に水道メーターと元栓があります。 お隣と共通のボックス内で元栓の場所がわからない場合は、水道料金の検針票などでご自分の水道メーター番号を確認してください。 ●キー式  止水栓キー SANEI品番： PR30A（止水栓キー） ●ハンドル式  水道メーター（量水器）  水道メーター（量水器）

こんなときは 本製品の構造

本製品の構造を表したイラストです。構造をご理解いただくのにご使用ください。



K8731JV-13 K8731JV-13-LF

一般用

1. スプレーヘッド組品
2. スプリング
3. スプリングガイド
4. シャワーホース
5. パッキン
6. ビス
7. 接続管
8. 定流量弁
9. ストレーナ
10. スター押さえ
11. スター
12. スペリパッキン
13. 本体
14. レバー
15. 化粧プレート
16. 回転キャップ
17. スライドカバー
18. カートリッジ押さえ
19. シングルカートリッジ
20. 座パッキン
21. パッキン
22. 菊座金
23. ロックナット
24. 逆止弁セット

K8731JK-13

寒冷地用

25. 接続金具組品

●K8731JV-13-LFの場合、No.8 定流量弁はありません。

保証とアフターサービス

〔保証について〕

- この製品は保証書の内容に従って保証されています。
お買上げ(お取付け)年月日、販売店(工事店)名が記入してあることを確認してください。
- 保証期間中は保証書の規定に従って、修理をさせていただきます。
保証期間内でも有料になることがありますので保証書の内容をご確認ください。
保証期間は保証書を確認してください。
- 保証期間を過ぎていても修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

〔水栓の定期的な点検・部品交換について〕

水栓の性能を維持するために定期的な点検・部品交換が必要です。摩耗劣化部品は、5年を交換の目安としておりますが、逆止弁については、より安全を考え、早め(3～5年)の点検・交換をおすすめします。(交換時期は、使用環境などにより異なります。)

定期点検・部品交換

使用年数

1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12

お客様による日常のお手入れ・点検

摩 耗 劣 化 部 品 の 交 換

買替え
ご検討

日頃のお手入れについてはP17～18、定期的な点検についてはP18～19をご確認ください。

摩耗劣化部品とは、日頃使用する度に摺動する、または摩耗及び劣化しやすい部品のことです。

摩耗劣化部品の例

シングルカートリッジ (バルブ開閉ユニット) ・ 逆止弁 (逆流防止弁) ・ シャワーホース ・ シャワーヘッド ・ スプリング ・ レバー (ハンドル) ・ 網 (ストレーナ) ・ パッキン ・ オリングなど

部品が摩耗劣化すると操作性低下、機能障害、劣化物流出や水漏れなどの原因になりますので、交換が必要です。
部品の詳細についてはP21を参照してください。

〔補修用性能部品の供給期間〕

この製品の補修用性能部品(機能維持のために必要な部品であり、使用期間中に取替える可能性が高いもの)の供給期間は製造中止後10年です。

〔修理の依頼と部品交換の依頼について〕

- 修理依頼と部品交換依頼先：お求めの販売店(工事店)又は当社
- 連絡していただきたい内容：
 - 住所、氏名、電話番号
 - 品番、品名
 - お買上げ(お取付け)年月日
 - 故障内容、異常の状況(水漏れ箇所の説明など)、
部品交換の依頼
 - 訪問希望日

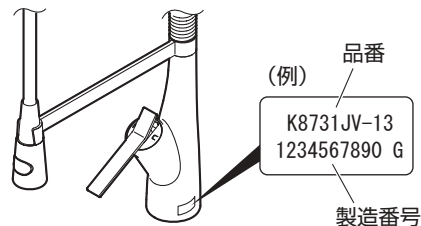
- 当社の修理および部品交換料金は「技術料」+「部品代」+「出張料」で構成されています。

「技術料」……診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用。

「部品代」……修理および部品交換に使用した部品代。(無料修理で交換した古い部品・製品は当社の所有になります。)

「出張料」……製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用。

品番を確認するには水栓の右側下部に貼付のシールをご確認ください。



〔部品のご購入や修理の依頼、ご相談は〕

- まずは、お求めの販売店(工事店)へご相談ください。
ご不明な場合は当社カスタマーセンターへお問合せください。

S A N E I 株式会社

〒537-0023 大阪市東成区玉津1丁目12番29号
カスタマーセンター ☎ 0120-06-9721
受付時間 9:00～17:30(土日祝除く)
ホームページ <http://www.san-ei-web.co.jp>

水栓金具保証書

本書は、本書記載内容で無料修理させていただく事をお約束するものです。

保証期間中に故障が発生した場合は、お買上げの販売店(工事店)にご依頼いただき、出張修理に際して本書をご提示ください。

お買上げ(お取付け)年月日、お客様名、販売店(工事店)名など記入もれがあると無効となります。

必ずご確認ください、記入のない場合はお買上げ(お取付け)の販売店(工事店)に申し出ていただくか、レシート又は領収書を貼付してください。

本書は再発行いたしません。大切に保管してください。

品番	品番は製品本体に貼っているシールをご確認ください。		
保証期間	対象部品		
	本体		
お買上げ日 (お取付け日)			
お客様	お名前		
	ご住所		
電話 ()			電話 ()

見 本

＜無料修理規定＞ ご依頼の前に再度、取扱説明書をお読みいただきご確認ください。

- 「取扱説明書」、「ラベル」などの注意書に従った正常な使用、維持管理状態で、保証期間中に故障した場合、無料修理いたします。
- ご転居、ご贈答品などで本保証書に記入の販売店(工事店)に修理を依頼できない場合は当社にご相談ください。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - (1) 使用、維持管理上の誤り及び不当な修理、改造による故障及び損傷
 - (2) 温泉水、中水、飲用不可な井戸水による故障及び損傷
 - (3) お買上げ(お取付け)後の取付場所の移動及びそれに伴う落下などによる故障及び損傷
 - (4) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害など、その他の事故及び損傷の原因が製品以外にある場合
 - (5) 電気製品における異常電圧、指定外の使用電源(電圧・周波数)及び外部ノイズなどに起因する不具合
 - (6) 消耗部品の劣化に伴う故障及び損傷
 - (7) 施工説明書などに基づかない施工、専門業者以外による移動・分解・改造などに起因する不具合
 - (8) 建築躯体の変形(強度不足・ゆがみ)など製品以外の不具合に起因する製品の不具合及び表面仕上げ、色あせなどの経年変化又は使用に伴う摩耗などにより生じる外観上の不具合
 - (9) 海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境に起因する不具合
 - (10) ねずみ、昆虫などの動物の行為に起因する不具合
 - (11) 砂やごみ、給水・給湯配管の錆など異物流入及び水あかの固着に起因する不具合
 - (12) 寒冷地仕様の製品で水抜きをされなかった場合や、寒冷地仕様でない製品の場合の凍結による故障及び損傷
 - (13) 本書の提示がない場合
 - (14) 本書にお買上げ(お取付け)年月日、お客様名、販売店(工事店)名の記載がない場合、あるいは字句の書き換えられた場合

4. 本書は日本国内においてのみ有効です。

★ この保証書は本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。

従って、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などにつきましてはお買上げの販売店(工事店)、または当社にお問合せください。

★ 補修用性能部品の保有期間についてご不明の場合は当社カスタマーセンターへお問合せください。

修理メモ

S A N E I 株式会社

〒537-0023 大阪市東成区玉津1丁目12番29号
カスタマーセンター ☎ 0120-06-9721
受付時間 9:00~17:30(土日祝除く)
ホームページ <http://www.san-ei-web.co.jp>